耐蝕性強力アルミ合金製　670011-06

五月武者幟ポール　6号

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます
お使いになる前にこの取扱説明書を最後までお読み下さい。
お読みになったあとは必ず保存して下さい。

ご注意

○日本国内の環境を考慮して設計された製品であり、海外での使用厳禁！！
○設置場所は地面に限ります。場所を決めるとき、必ず頭上の電線にご注意下さい。アルミ合金製ですから感電します。

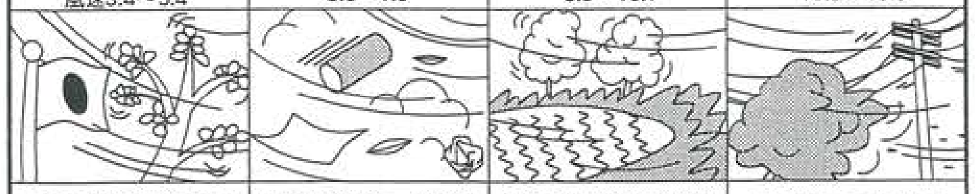
組立及び降納時の注意

○ポールの組立及び解体を行う時、特に電線に注意し、組立時はもちろん、傾斜した時にも電線に触れない所に立てて下さい。
やむを得ず電線のそばに立てる時は事前に電力会社に連絡して下さい。
○ポールの組立及び降納は必ず大人3人以上で行って下さい。
○雨天時、強風時にはポールの組立及び降納を行わないで下さい。

使用上の注意

○雨天時や強風時（風力4以上）にはポールが変形したりする事がありますので鯉や吹き流しは降ろして下さい。（下図風力の目安）
○ポールに取付ける鯉は化繊系とし、鯉や吹き流しは4点以下として下さい。また、その長さは最長のものでポール本体の全長の1/2以下にして下さい。
○矢車等はポール本体に適したものを選んで下さい。
○大幟・鯉幟の掲揚シーズン終了時には、ポール・回転球等も降納して下さい。なお、ポールを降納するおり、ポールを倒す方向に脚立等を置き障害の有無を確認の上、ゆるやかに倒して下さい。

風力3	4	5	6
風速3.4～5.4	5.5～7.9	8.0～10.7	10.8～13.8
木の葉や小枝がたえず動き旗などがひらめく	ほこりがたち、紙くずなどが舞う	葉のあるかん木がゆれ、池の水面に波が立つ	大木が動き電線が鳴る



降納の注意

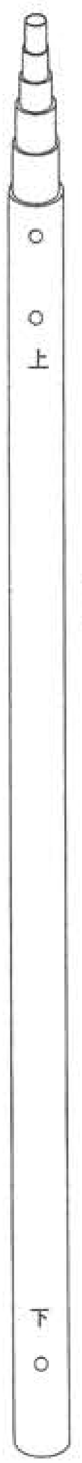
○使用後の解体は組立方の逆に行って下さい。
（組上がり完成状態では、ポールをパイル（杭）から引き抜かないで下さい）
○解体時ポール本体のボルトをはずし、収納寸前に必ず乾いた布等でポール本体をよく拭き、チリや砂等がすき間に入り込まないようにご注意下さい。
○雨天時や強風時には降納を行わないで下さい。
○必ず大人3人以上で行って下さい。

保管上の注意

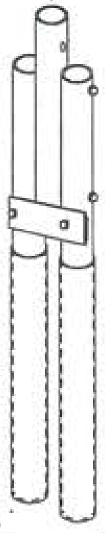
○使用後は汚れを落とし乾いた布でよく拭き、湿気のある場所や潮風の当たる場所、化学肥料の保管している場所は避けて下さい。
なお、パイル（杭）はビニール等で保護して下さい。
○使用・保管状態により、パイル（杭）・ポール等腐食する場合があります。
翌年、ポールを掲揚する場合パイル（杭）の腐食状態を確認して下さい。
（鉄製の為、腐食が進行している場合があり、そのまま使用すると危険です）

部品の名称（上下回転器付き）

ポール本体



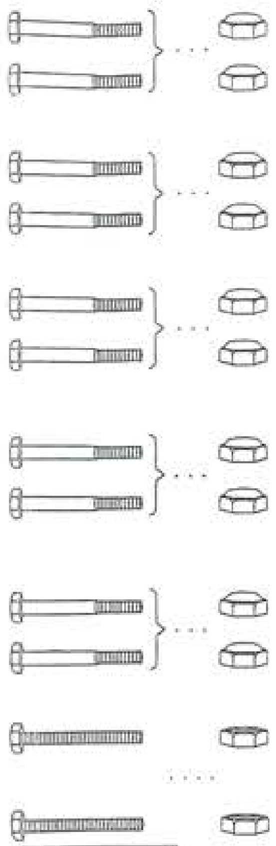
パイル



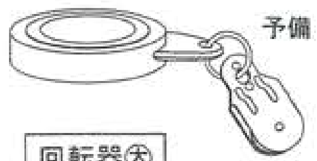
ステパイプ

ボルト・特殊ナット

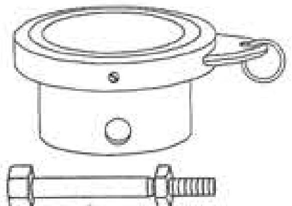
⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で2～3回締めると回転しなくなります。さらに添え付けのスパナで1～2回締めて下さい。締めすぎると袋ナットの袋部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。

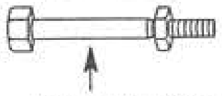


回転器(小)滑車付



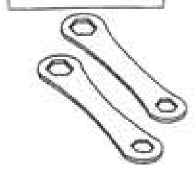
回転器(大)



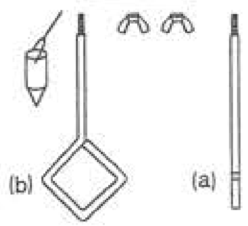


同封のボルトは準備作業の④の段階で使用します

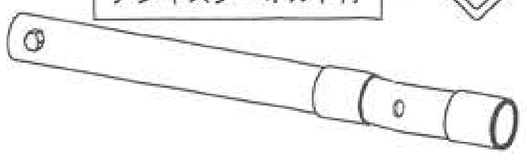
付属スパナ



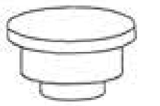
垂直器



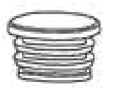
アジャスターボルト付



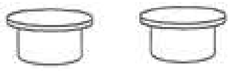
キャップ（大）



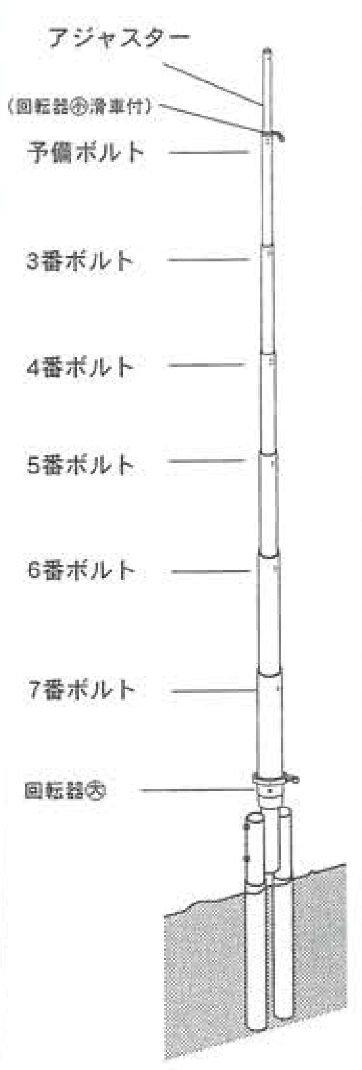
キャップ（小）



ステパイプ用キャップ

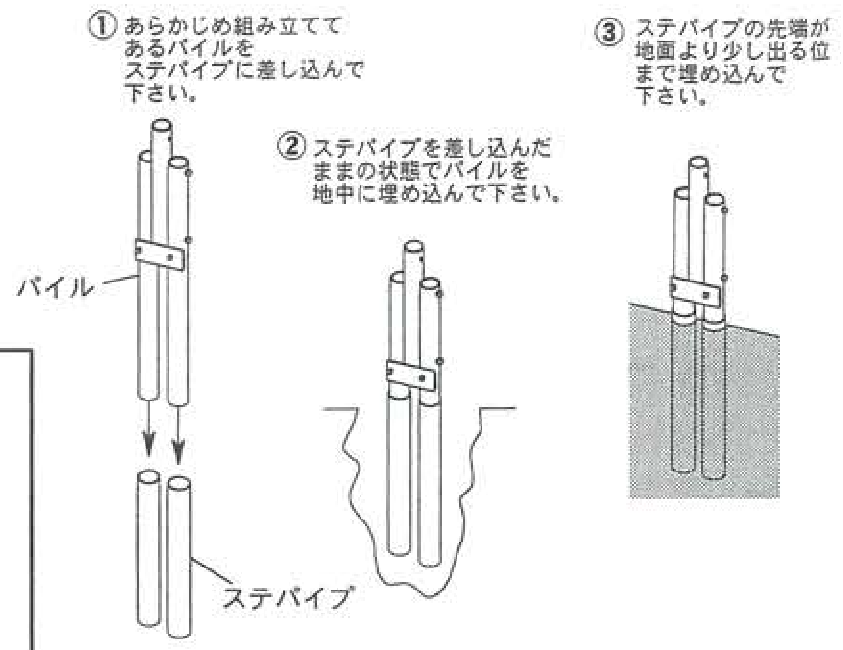


完成図



ステパイプの取り付け方

準備作業の進め方をよくお読みの上ケガをしないよう十分注意をして作業をして下さい。

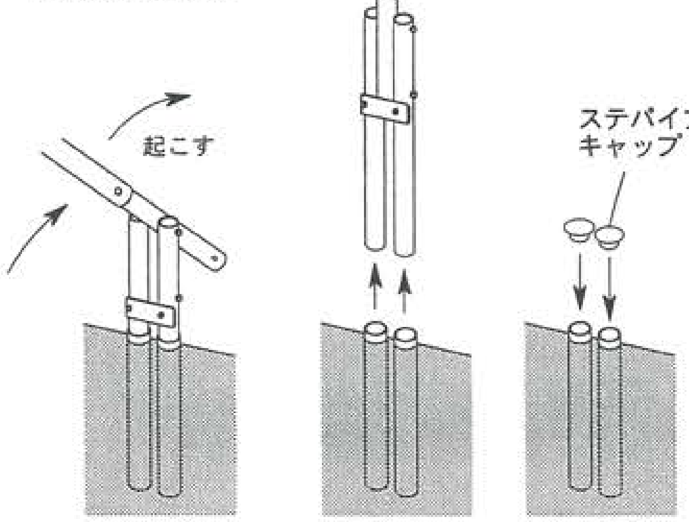


⚠警告

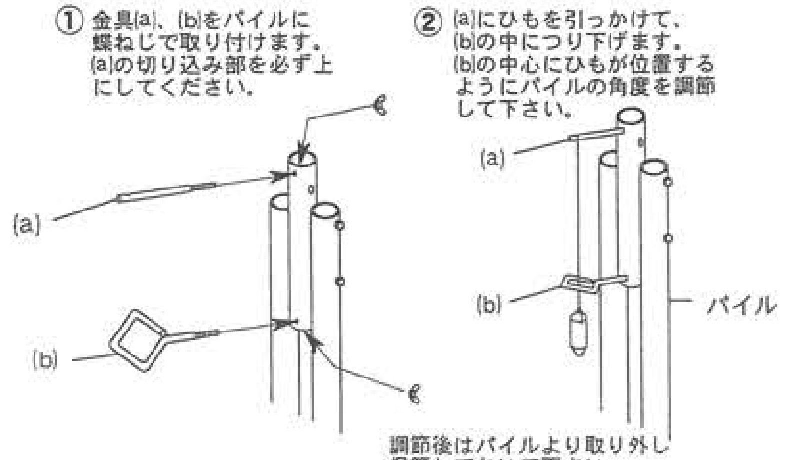
ポールの上げ、降ろしの時パイルが抜ける場合がありますのでパイルを押さえて下さい。
手、指等はさんでケガをしないよう十分注意して下さい。

ご使用後は

パイルを抜き取りキャップをかぶせて平地としてご使用下さい。



垂直器の取り付け方



調節後はパイルより取り外し保管しておいて下さい

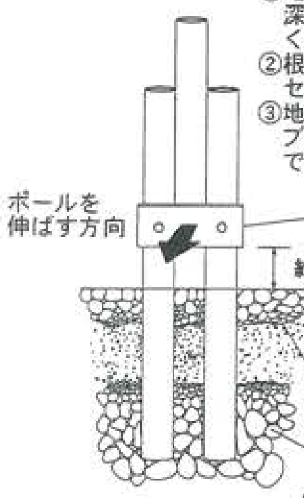
準備作業の進め方

① パイルをうめます。

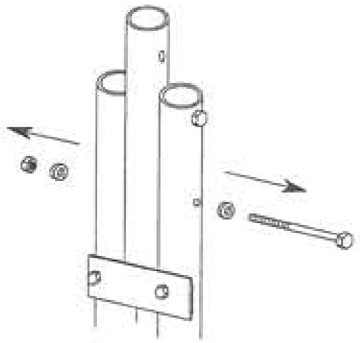
※パイルを埋める前に必ず
　ステパイプの取り付け方をご精読下さい。

パイルをうめ込む場所を決める時、特に下記のことにご注意下さい
①ポールはアルミ合金製ですから必ず頭の上の電線の有無を確認して下さい。
　電線にポールが接触すると感電します。
②あらかじめポールを伸ばす方向を決めパイルに取り付けた金具(a)がポールを
　伸ばす方向になるように位置して下さい。
③風向き、及び幟旗等を配慮して位置を決めて下さい。

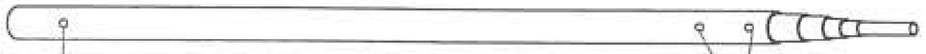
①地面を直径約50cm位
　深さ約90cm位掘り下げて
　ください。
②根元に大きめの石等を入れ
　セメントで固めて下さい。
③地表面も大きめの石か
　ブロックで固定し、セメント
　で固めて下さい。



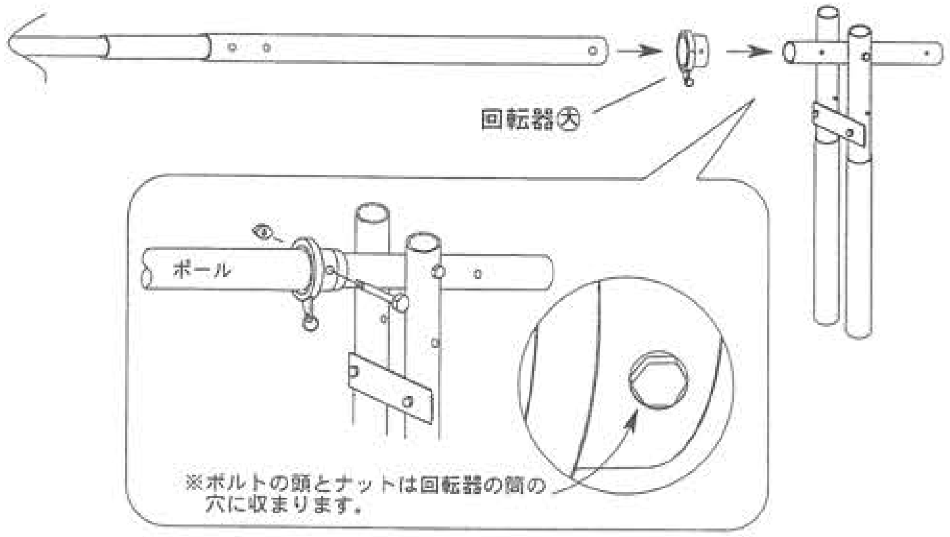
② 地中にうめ込み、コンクリートが固まった事を確認した後、下のボルト、ナットを取って下さい。



③ ポール本体をケースより取り出しポールの両端の穴にご注意下さい。2ツ穴のほうが上になります。



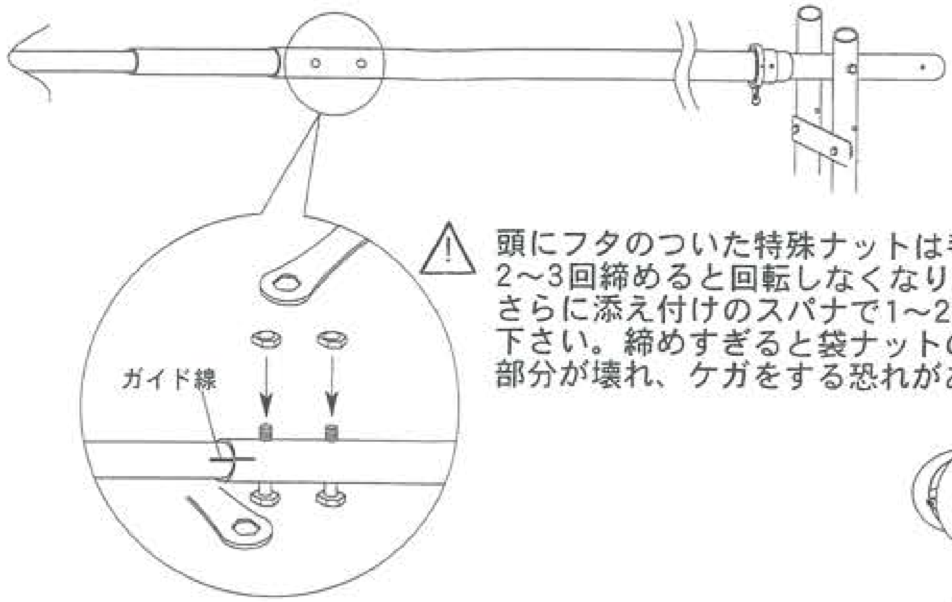
④パイルを倒しポールを取り付けます ※このとき回転器㊅を取り付けます



⚠ ボルトナットは回転器の筒の穴に収めてしめてください。
回転器に掛かった状態でボルトをしめると、回転器が変形し
回らなくなる恐れがありますので、ご注意下さい。

⑤ポールを引き出しボルトとナットで接続します

使用ボルトは完成図に明記した番号のものをお使い下さい

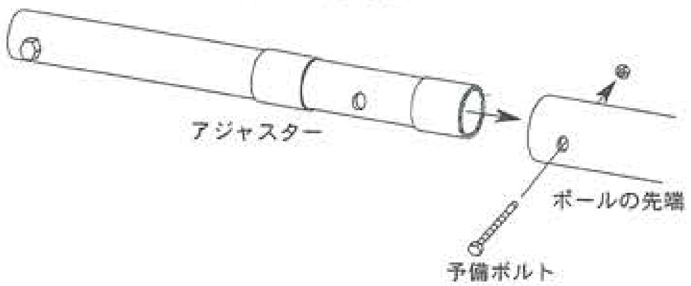


⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で
2～3回締めると回転しなくなります。
さらに添え付けのスパナで1～2回締めて
下さい。締めすぎると袋ナットの袋
部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。

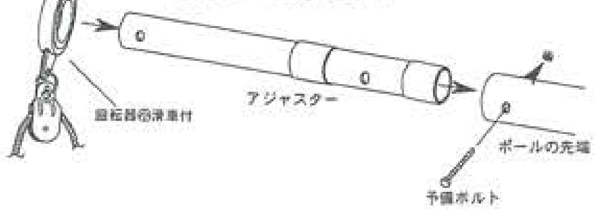
ガイド線を合わすとボルトの穴が合います。

⑥ アジャスターを取り付けます

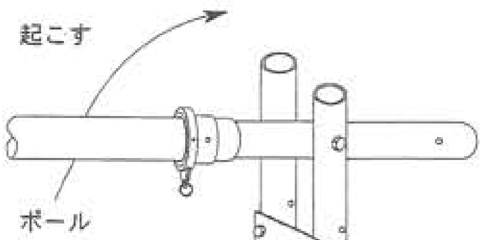
※揭揚器具の種類によりアジャスターを
　使用しない場合があります。



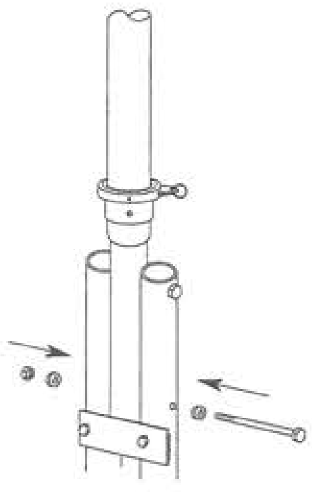
※回転器㊛滑車付を使用する場合はこの時
　装着してください。



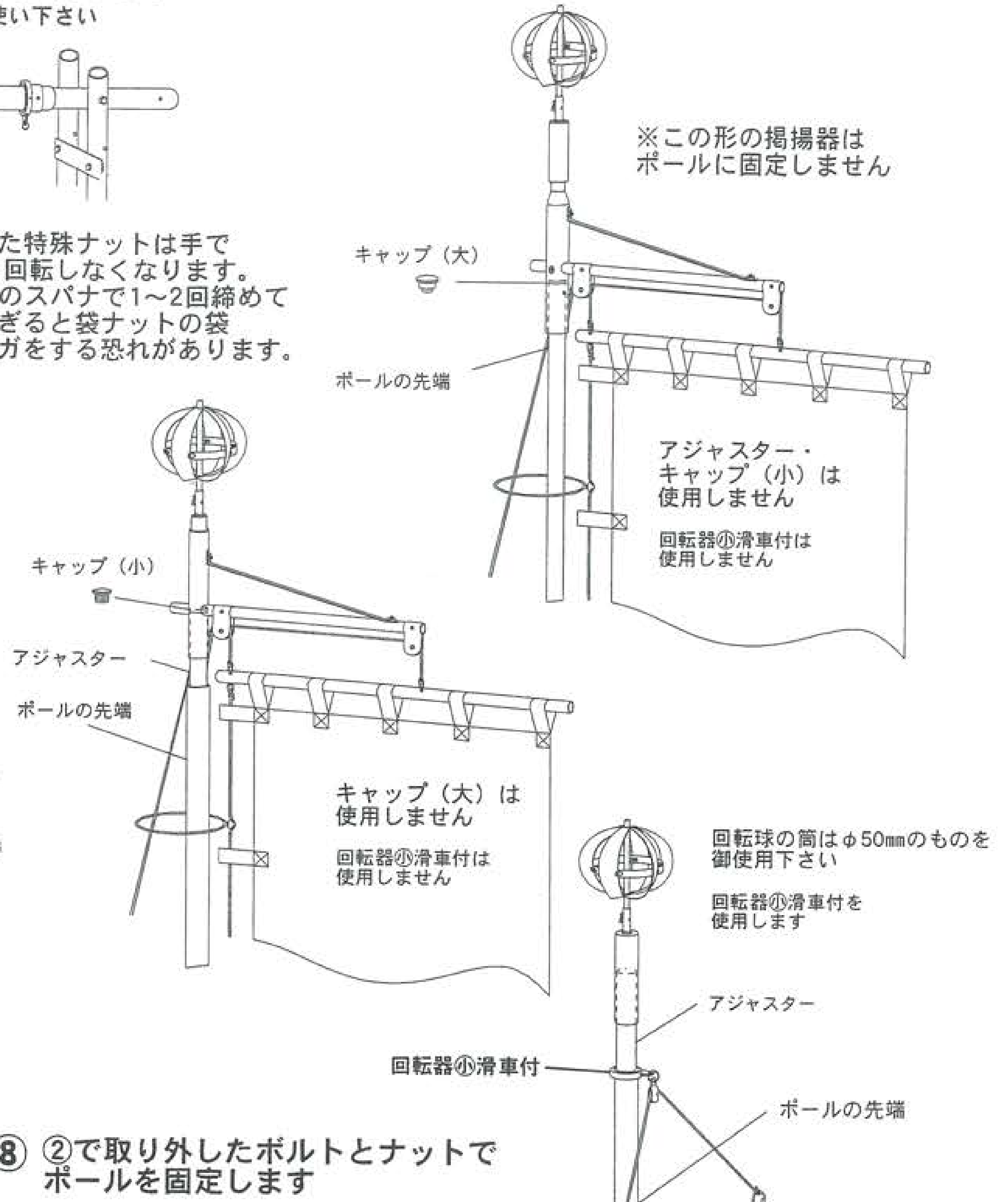
⑦ポールを矢印方向に起こします



⑧ ②で取り外したボルトとナットでポールを固定します



◇掲揚器の種類別取り扱い例◇



耐蝕性強力アルミ合金製　670011-05

五月武者幟ポール　5号

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます
お使いになる前にこの取扱説明書を最後までお読み下さい。
お読みになったあとは必ず保存して下さい。

ご注意

○日本国内の環境を考慮して設計された製品であり、海外での使用厳禁！！
○設置場所は地面に限ります。場所を決めるとき、必ず頭上の電線にご注意下さい。アルミ合金製ですから感電します。

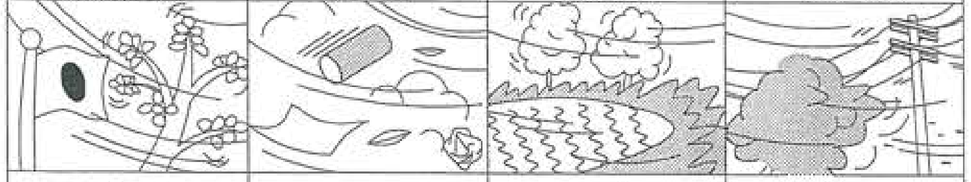
組立及び降納時の注意

○ポールの組立及び解体を行う時、特に電線に注意し、組立時はもちろん、傾斜した時にも電線に触れない所に立てて下さい。
やむを得ず電線のそばに立てる時は事前に電力会社に連絡して下さい。
○ポールの組立及び降納は必ず大人3人以上で行って下さい。
○雨天時、強風時にはポールの組立及び降納を行わないで下さい。

使用上の注意

○雨天時や強風時（風力4以上）にはポールが変形したりする事がありますので鯉や吹き流しは降ろして下さい。（下図風力の目安）
○ポールに取付ける鯉は化繊系とし、鯉や吹き流しは4点以下として下さい。また、その長さは最長のものでポール本体の全長の1/2以下にして下さい。
○矢車等はポール本体に適したものを選んで下さい。
○大幟・鯉幟の掲揚シーズン終了時には、ポール・回転球等も降納して下さい。なお、ポールを降納するおり、ポールを倒す方向に脚立等を置き障害の有無を確認の上、ゆるやかに倒して下さい。

風力3	4	5	6
風速3.4～5.4	5.5～7.9	8.0～10.7	10.8～13.8
木の葉や小枝がたえず動き旗などがひらめく	ほこりがたち、紙くずなどが舞う	葉のあるかん木がゆれ、池の水面に波が立つ	大木が動き電線が鳴る



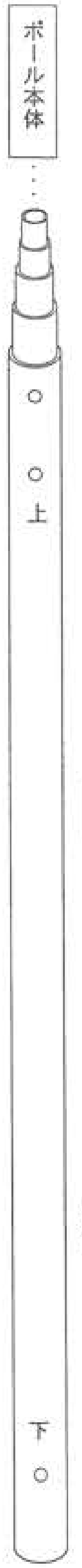
降納の注意

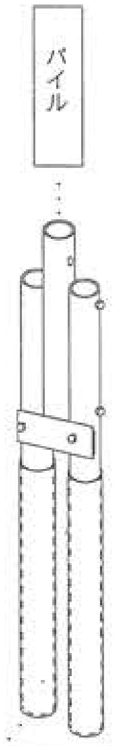
○使用後の解体は組立方の逆に行って下さい。
（組上がり完成状態では、ポールをパイル（杭）から引き抜かないで下さい）
○解体時ポール本体のボルトをはずし、収納寸前に必ず乾いた布等でポール本体をよく拭き、チリや砂等がすき間に入り込まないようにご注意下さい。
○雨天時や強風時には降納を行わないで下さい。
○必ず大人3人以上で行って下さい。

保管上の注意

○使用後は汚れを落とし乾いた布でよく拭き、湿気のある場所や潮風の当たる場所、化学肥料の保管している場所は避けて下さい。
なお、パイル（杭）はビニール等で保護して下さい。
○使用・保管状態により、パイル（杭）・ポール等腐食する場合があります。
翌年、ポールを掲揚する場合パイル（杭）の腐食状態を確認して下さい。
（鉄製の為、腐食が進行している場合があり、そのまま使用すると危険です）

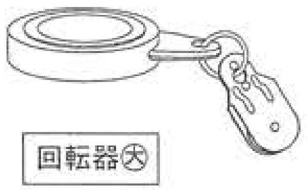
部品の名称（上下回転器付き）



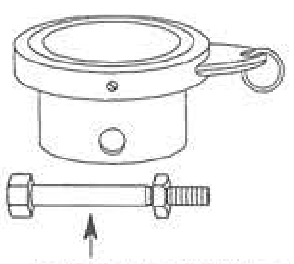


ステパイプ

回転器㊀滑車付



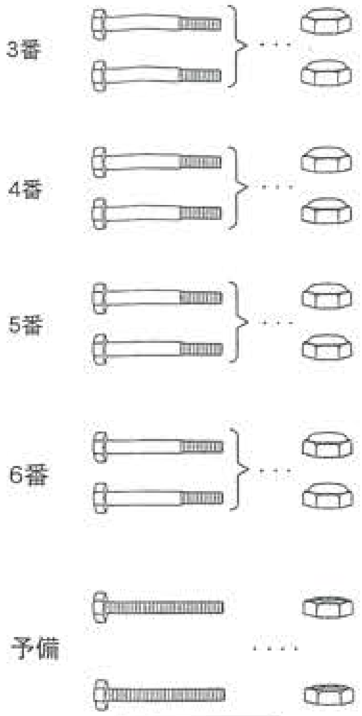
回転器㊅



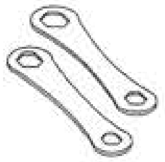
同封のボルトは準備作業の④の段階で使用します

ボルト・特殊ナット

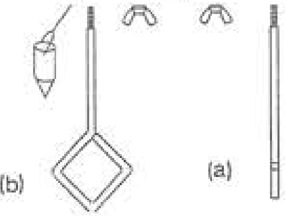
⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で2～3回締めると回転しなくなります。さらに添え付けのスパナで1～2回締めて下さい。締めすぎると袋ナットの袋部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。



付属スパナ

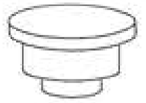


垂直器

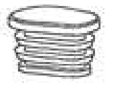


アジャスターボルト付

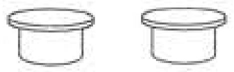
キャップ（大）



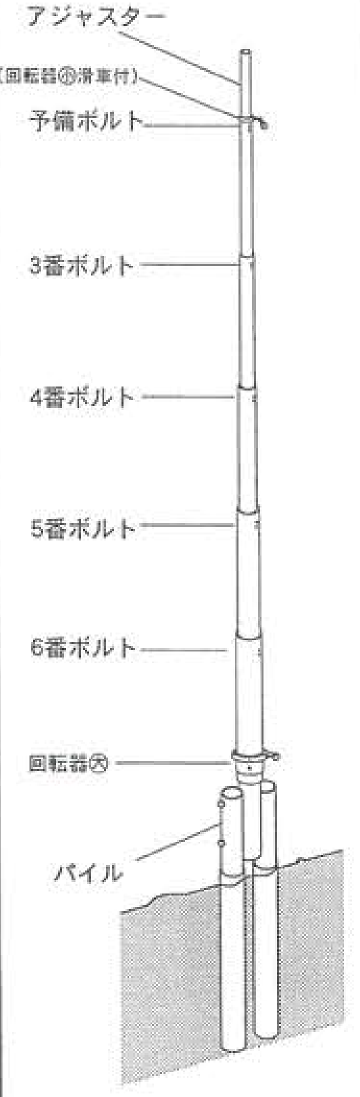
キャップ（小）



ステパイプ用キャップ

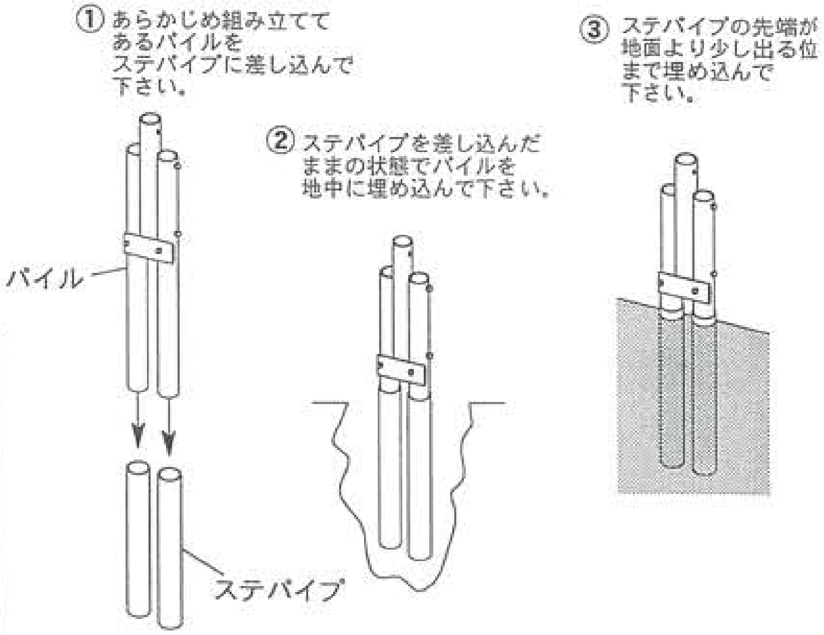


完成図



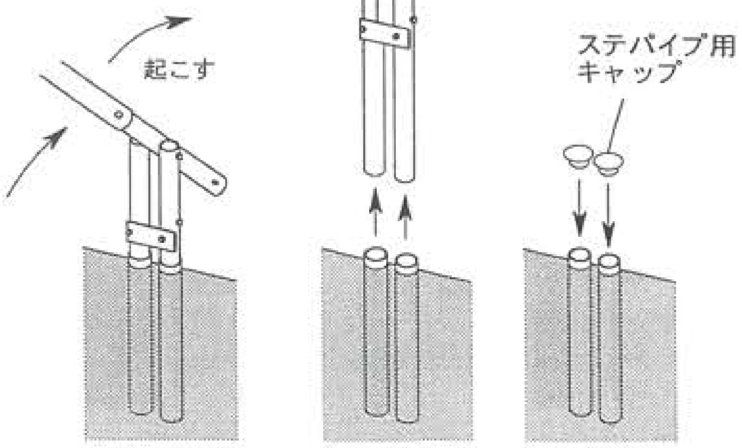
ステパイプの取り付け方

準備作業の進め方をよくお読みの上ケガをしないよう十分注意をして作業をして下さい。



⚠ 警告
ポールの上げ、降ろしの時パイルが抜ける場合がありますのでパイルを押さえて下さい。
手、指等はさんでケガをしないよう十分注意して下さい。

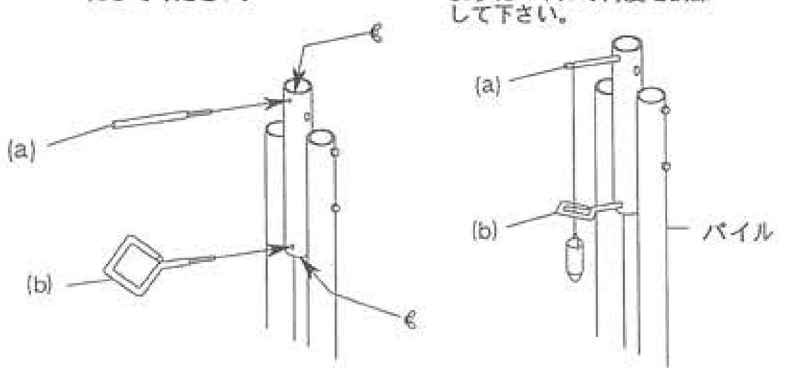
ご使用後は
パイルを抜き取りキャップをかぶせて平地としてご使用下さい。



垂直器の取り付け方

① 金具(a)、(b)をパイルに蝶ねじで取り付けます。(a)の切り込み部を必ず上にしてください。

② (a)にひもを引っかけて、(b)の中につり下げます。(b)の中心にひもが位置するようにパイルの角度を調節して下さい。



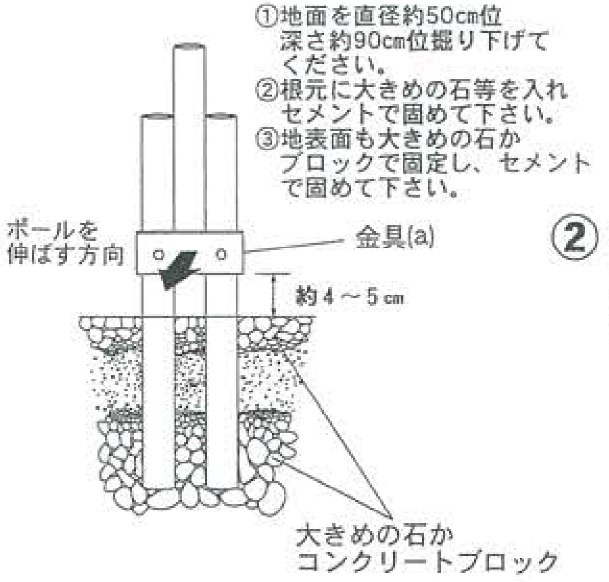
調節後はパイルより取り外し保管しておいて下さい

準備作業の進め方

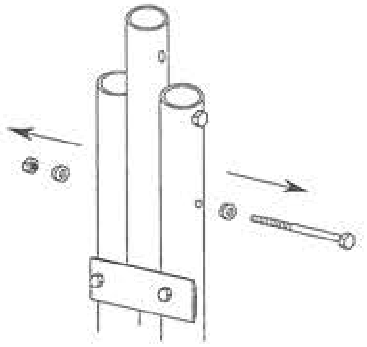
① パイルをうめます。

※パイルを埋める前に必ず
　ステパイプの取り付け方をご精読下さい。

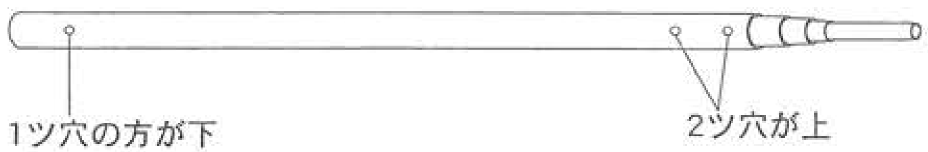
パイルをうめ込む場所を決める時、特に下記のことにご注意下さい
①ポールはアルミ合金製ですから必ず頭の上の電線の有無を確認して下さい。
　電線にポールが接触すると感電します。
②あらかじめポールを伸ばす方向を決めパイルに取り付けた金具(a)がポールを
　伸ばす方向になるように位置して下さい。
③風向き、及び幟旗等を配慮して位置を決めて下さい。



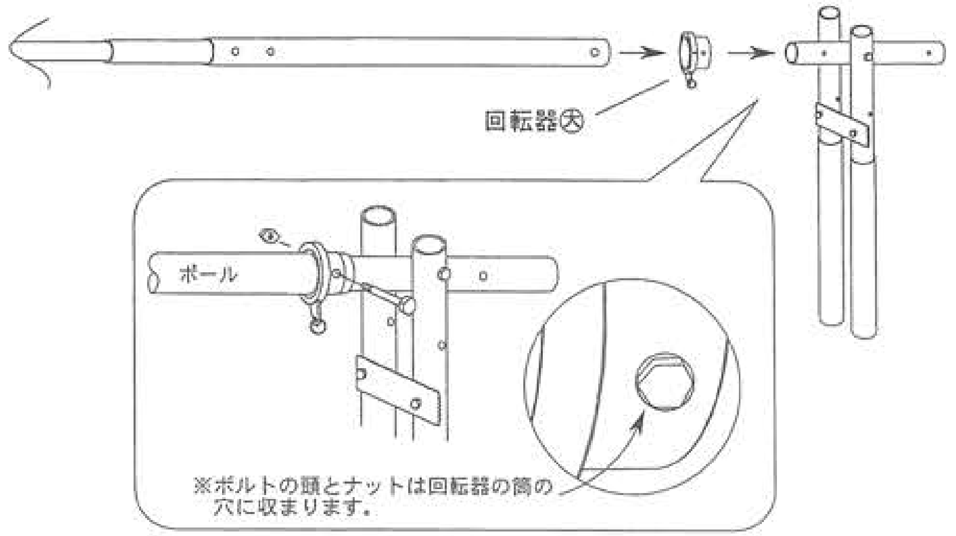
② 地中にうめ込み、コンクリートが固まった事を確認した後、下のボルト、ナットを取って下さい。



③ ポール本体をケースより取り出しポールの両端の穴にご注意下さい。2ツ穴のほうが上になります。



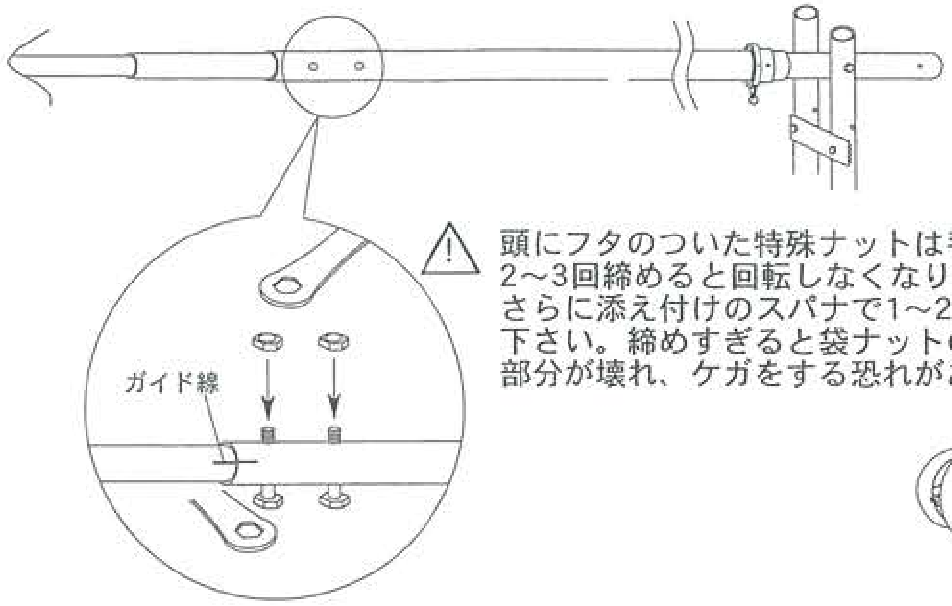
④パイルを倒しポールを取り付けます
※このとき回転器㊥を取り付けます



⚠ ボルトナットは回転器の筒の穴に収めてしめてください。
回転器に掛かった状態でボルトをしめると、回転器が変形し
回らなくなる恐れがありますので、ご注意下さい。

⑤ポールを引き出しボルトとナットで接続します

使用ボルトは完成図に明記した番号のものをお使い下さい

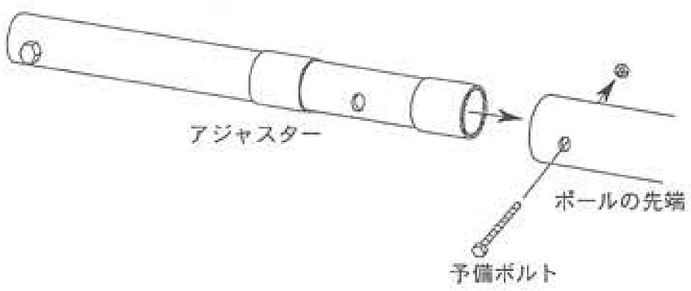


⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で
2～3回締めると回転しなくなります。
さらに添え付けのスパナで1～2回締めて
下さい。締めすぎると袋ナットの袋
部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。

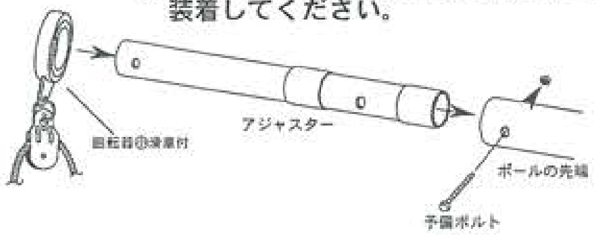
ガイド線を合わすとボルトの穴が合います。

⑥ アジャスターを取り付けます

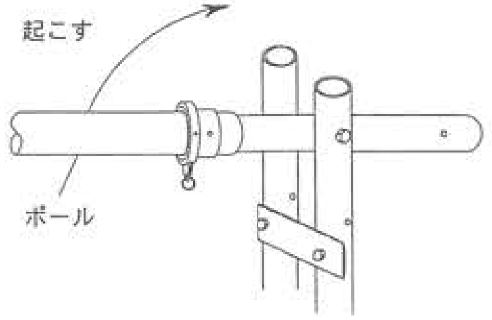
※掲揚器具の種類によりアジャスターを
　使用しない場合があります。



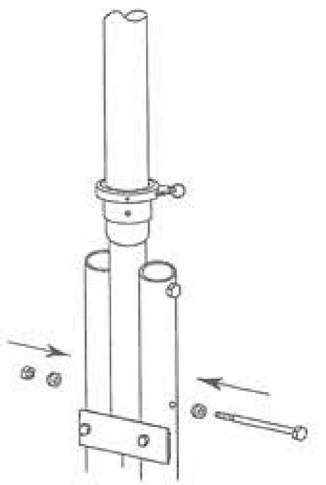
※回転器㊤滑車付を使用する場合はこの時
　装着してください。



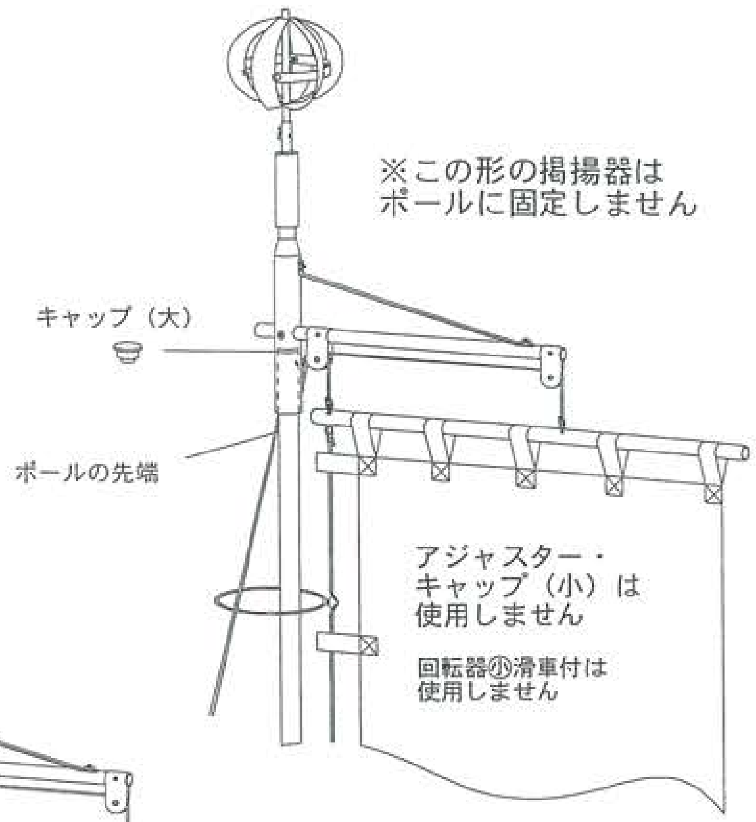
⑦ポールを矢印方向に起こします

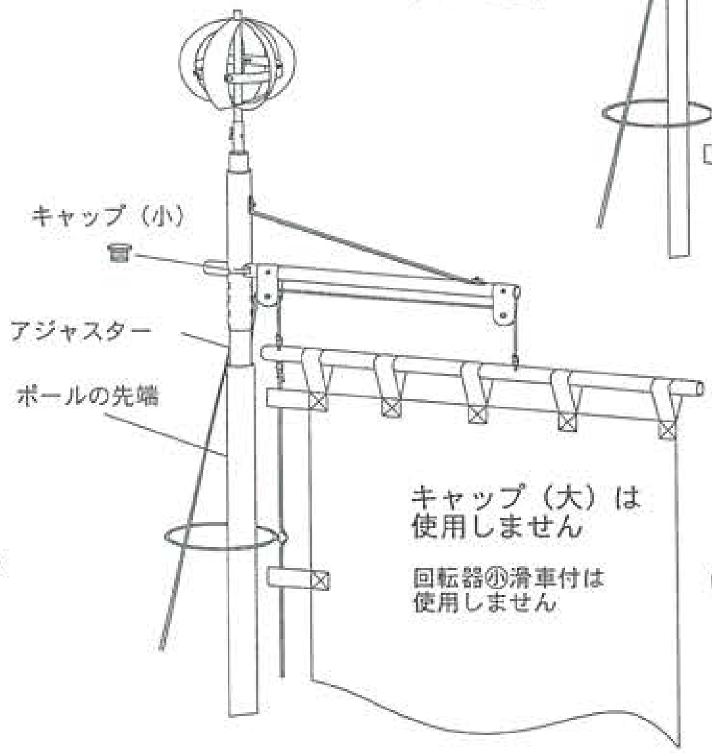


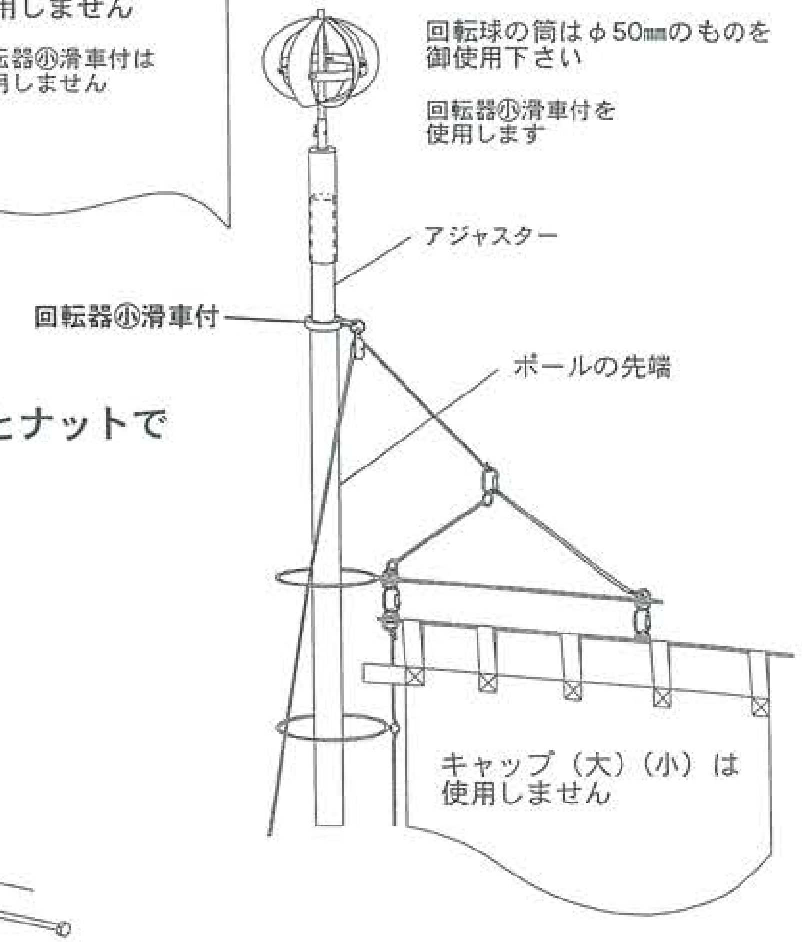
⑧ ②で取り外したボルトとナットでポールを固定します



◇掲揚器の種類別取り扱い例◇







耐蝕性強力アルミ合金製　670011-04

五月武者幟ポール　4号

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます
お使いになる前にこの取扱説明書を最後までお読み下さい。
お読みになったあとは必ず保存して下さい。

ご注意

○日本国内の環境を考慮して設計された製品であり、海外での使用厳禁！！
○設置場所は地面に限ります。場所を決めるとき、必ず頭上の電線にご注意下さい。アルミ合金製ですから感電します。

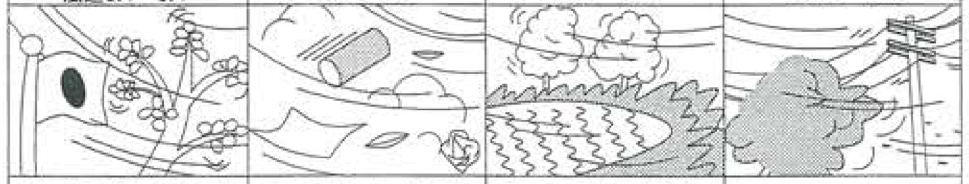
組立及び降納時の注意

○ポールの組立及び解体を行う時、特に電線に注意し、組立時はもちろん、傾斜した時にも電線に触れない所に立てて下さい。
やむを得ず電線のそばに立てる時は事前に電力会社に連絡して下さい。
○ポールの組立及び降納は必ず大人3人以上で行って下さい。
○雨天時、強風時にはポールの組立及び降納を行わないで下さい。

使用上の注意

○雨天時や強風時（風力4以上）にはポールが変形したりする事がありますので鯉や吹き流しは降ろして下さい。（下図風力の目安）
○ポールに取付ける鯉は化繊系とし、鯉や吹き流しは4点以下として下さい。また、その長さは最長のものでポール本体の全長の1/2以下にして下さい。
○矢車等はポール本体に適したものを選んで下さい。
○大幟・鯉幟の掲揚シーズン終了時には、ポール・回転球等も降納して下さい。なお、ポールを降納するおり、ポールを倒す方向に脚立等を置き障害の有無を確認の上、ゆるやかに倒して下さい。

風力3	4	5	6
風速3.4～5.4	5.5～7.9	8.0～10.7	10.8～13.8
木の葉や小枝がたえず動き旗などがひらめく	ほこりがたち、紙くずなどが舞う	葉のあるかん木がゆれ、池の水面に波が立つ	大木が動き電線が鳴る



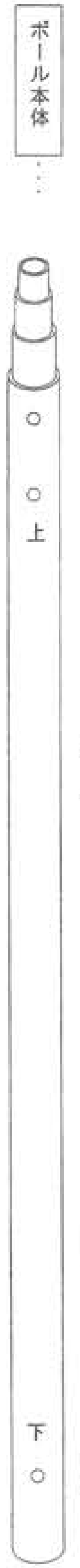
降納の注意

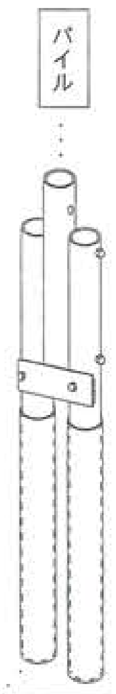
○使用後の解体は組立方の逆に行って下さい。
（組上がり完成状態では、ポールをパイル（杭）から引き抜かないで下さい）
○解体時ポール本体のボルトをはずし、収納寸前に必ず乾いた布等でポール本体をよく拭き、チリや砂等がすき間に入り込まないようにご注意下さい。
○雨天時には降納を行わないで下さい。
○必ず大人3人以上で行って下さい。

保管上の注意

○使用後は汚れを落とし乾いた布でよく拭き、湿気のある場所や潮風の当たる場所、化学肥料の保管している場所は避けて下さい。
なお、パイル（杭）はビニール等で保護して下さい。
○使用・保管状態により、パイル（杭）・ポール等腐食する場合があります。翌年、ポールを掲揚する場合パイル（杭）の腐食状態を確認して下さい。
（鉄製の為、腐食が進行している場合があり、そのまま使用すると危険です）

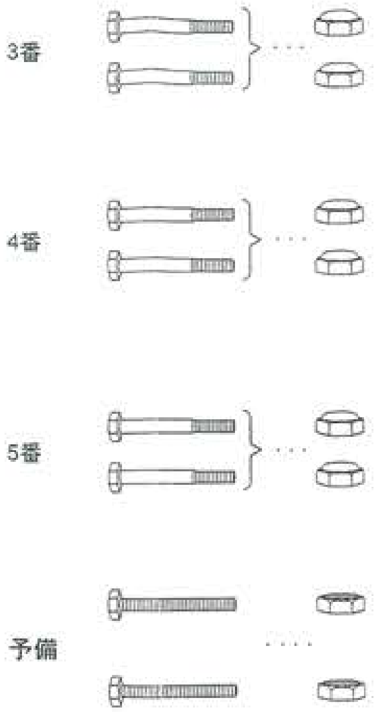
部品の名称（上下回転器付き）





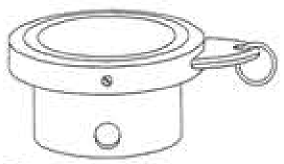
ボルト・特殊ナット

⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で2～3回締めると回転しなくなります。さらに添え付けのスパナで1～2回締めて下さい。締めすぎると袋ナットの袋部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。



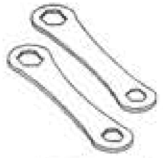
回転器㊭滑車付

回転器㊫

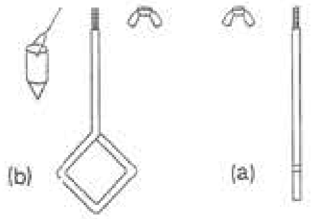


同封のボルトは準備作業の④の段階で使用します

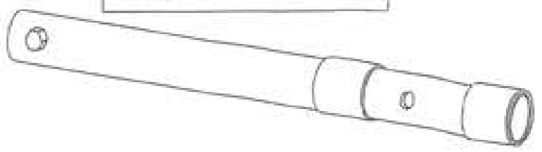
付属スパナ

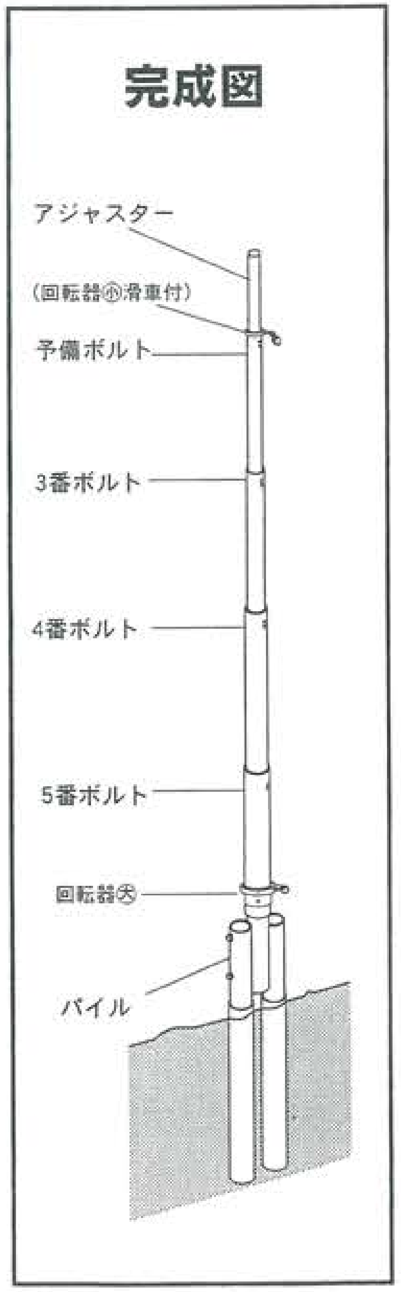


垂直器



アジャスターボルト付



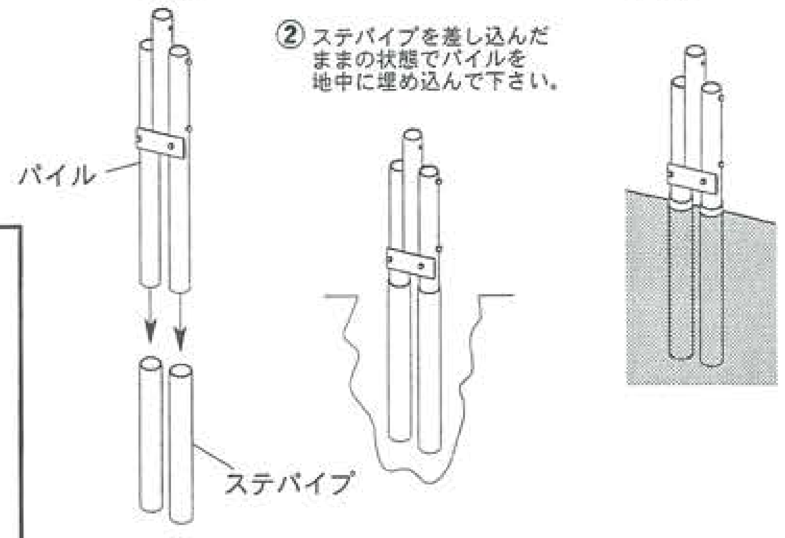


キャップ（大）　キャップ（小）　ステパイプ用キャップ

ステパイプの取り付け方

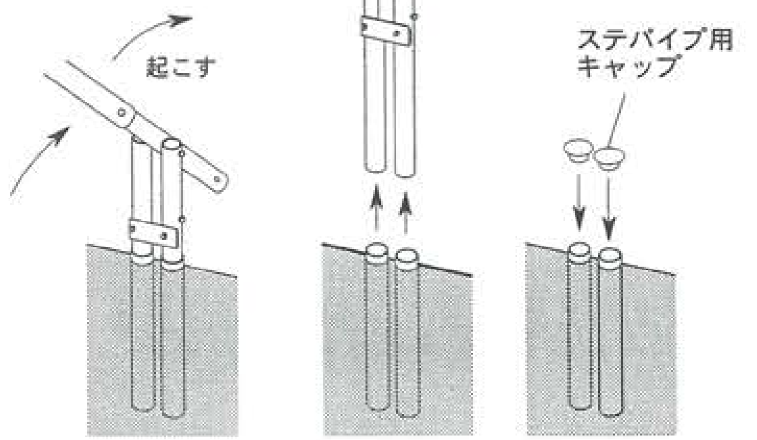
準備作業の進め方をよくお読みの上ケガをしないよう十分注意をして作業をして下さい。

① あらかじめ組み立ててあるパイルをステパイプに差し込んで下さい。
② ステパイプを差し込んだままの状態でパイルを地中に埋め込んで下さい。
③ ステパイプの先端が地面より少し出る位まで埋め込んで下さい。



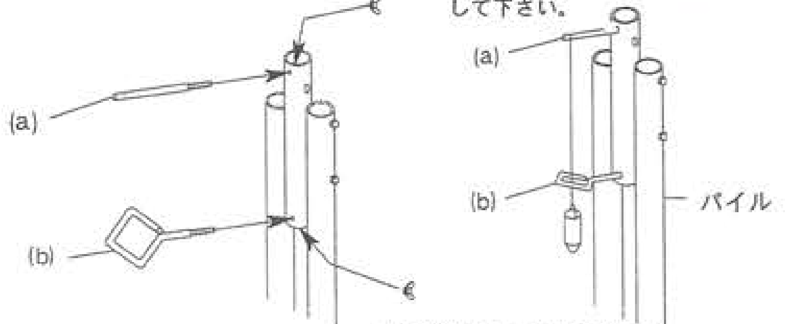
⚠警告
ポールの上げ、降ろしの時パイルが抜ける場合がありますのでパイルを押さえて下さい。
手、指等はさんでケガをしないよう十分注意して下さい。

ご使用後は
パイルを抜き取りキャップをかぶせて平地としてご使用下さい。



垂直器の取り付け方

① 金具(a)、(b)をパイルに蝶ねじで取り付けます。(a)の切り込み部を必ず上にしてください。
② (a)にひもを引っかけて、(b)の中につり下げます。(b)の中心にひもが位置するようにパイルの角度を調節して下さい。



調節後はパイルより取り外し保管しておいて下さい

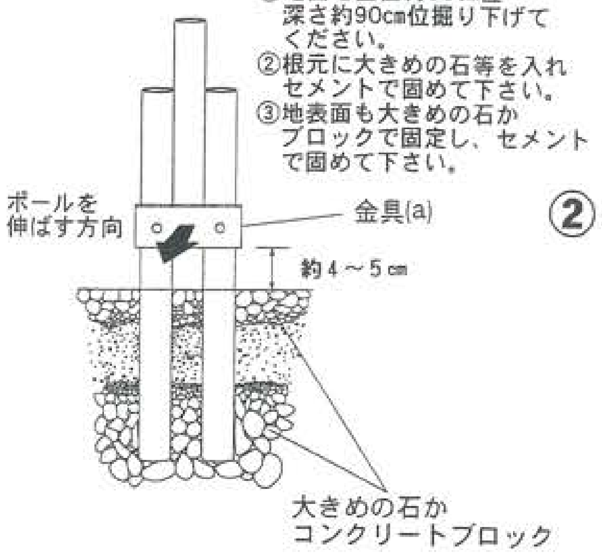
準備作業の進め方

① パイルをうめます。

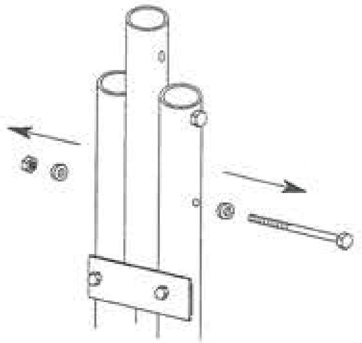
※パイルを埋める前に必ず
ステパイプの取り付け方をご精読下さい。

パイルをうめ込む場所を決める時、特に下記のことにご注意下さい
①ポールはアルミ合金製ですから必ず頭の上の電線の有無を確認して下さい。
電線にポールが接触すると感電します。
②あらかじめポールを伸ばす方向を決めパイルに取り付けた金具(a)がポールを伸ばす方向になるように位置して下さい。
③風向き、及び幟旗等を配慮して位置を決めて下さい。

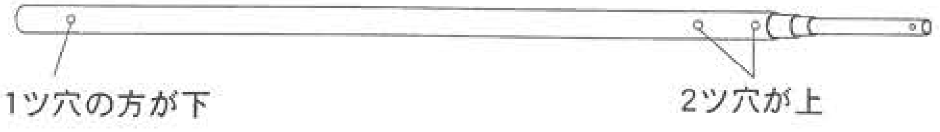
①地面を直径約50cm位
深さ約90cm位掘り下げて
ください。
②根元に大きめの石等を入れ
セメントで固めて下さい。
③地表面も大きめの石か
ブロックで固定し、セメント
で固めて下さい。



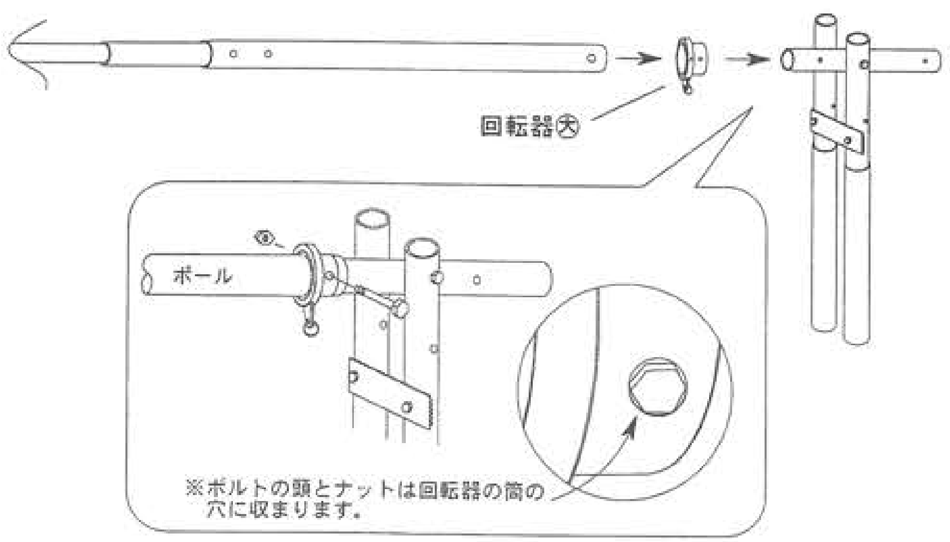
② 地中にうめ込み、コンクリートが固まった事を確認した後、下のボルト、ナットを取って下さい。



③ ポール本体をケースより取り出しポールの両端の穴にご注意下さい。2ツ穴のほうが上になります。



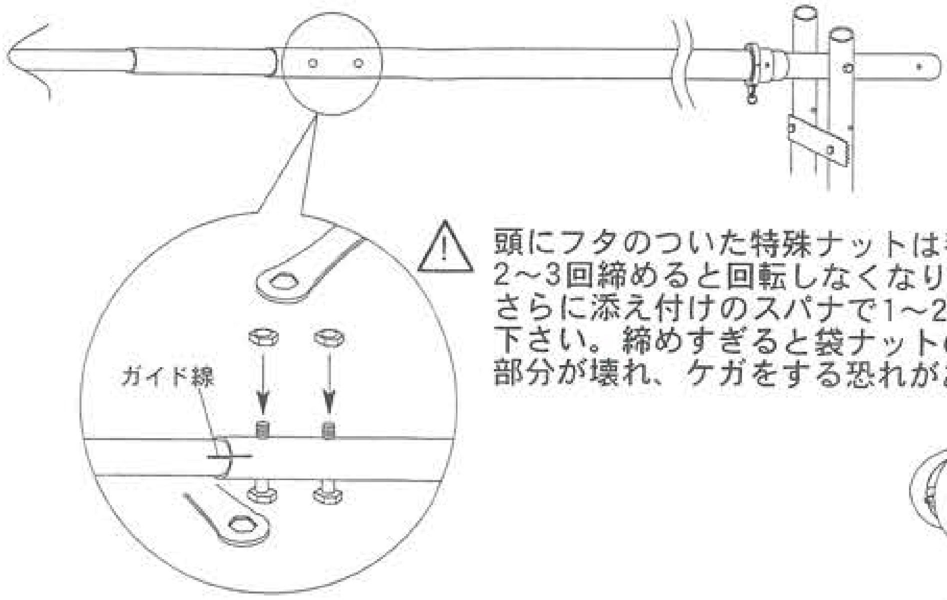
④パイルを倒しポールを取り付けます ※このとき回転器㊥を取り付けます



⚠ ボルトナットは回転器の筒の穴に収めてしめてください。
回転器に掛かった状態でボルトをしめると、回転器が変形し
回らなくなる恐れがありますので、ご注意下さい。

⑤ポールを引き出しボルトとナットで接続します

使用ボルトは完成図に明記した番号のものをお使い下さい

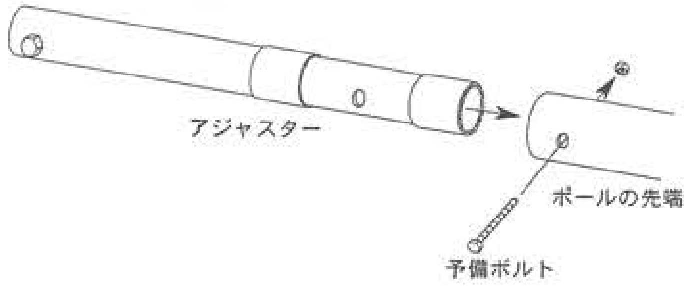


⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で
2～3回締めると回転しなくなります。
さらに添え付けのスパナで1～2回締めて
下さい。締めすぎると袋ナットの袋
部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。

ガイド線を合わすとボルトの穴が合います。

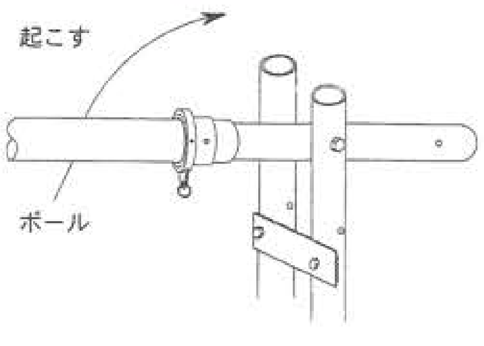
⑥ アジャスターを取り付けます

※掲揚器具の種類によりアジャスターを
使用しない場合があります。

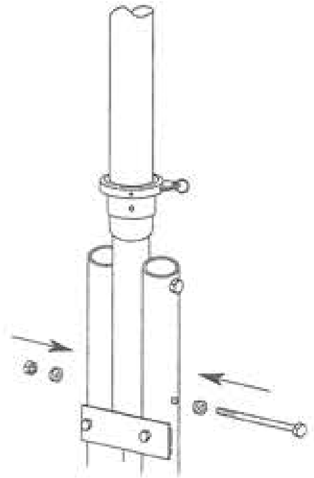


※回転器㊙滑車付を使用する場合はこの時
装着してください。

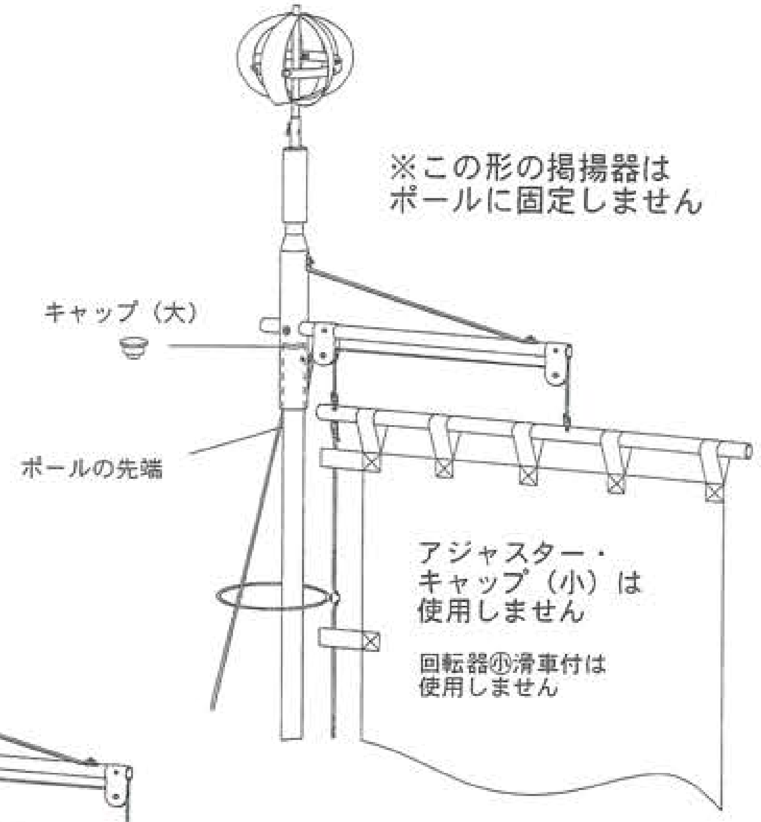
⑦ポールを矢印方向に起こします

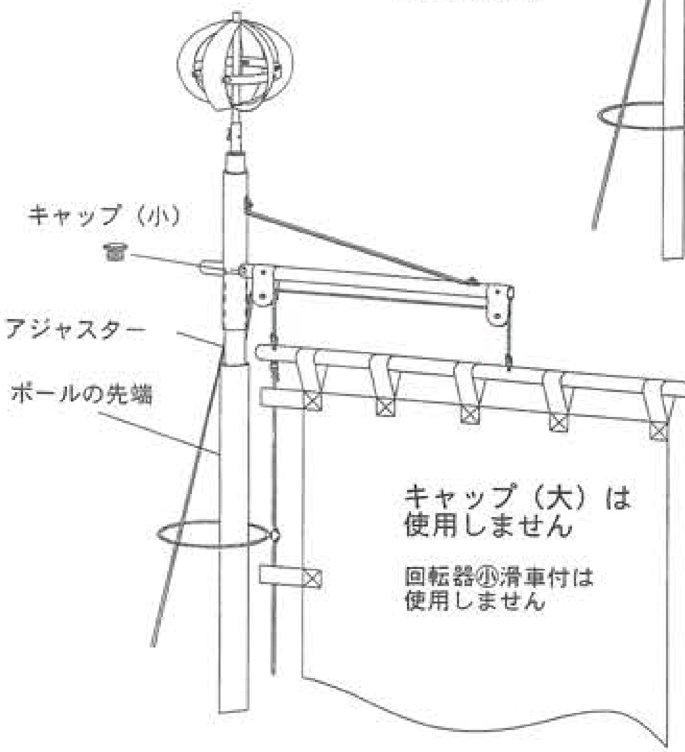


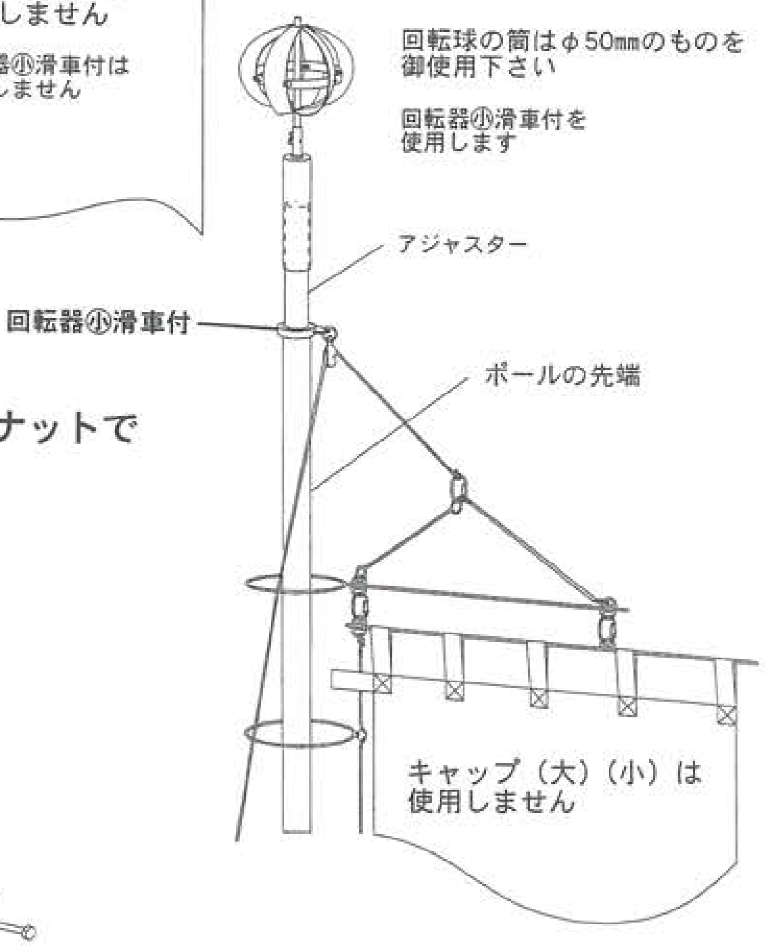
⑧ ②で取り外したボルトとナットでポールを固定します



◇掲揚器の種類別取り扱い例◇







耐蝕性強力アルミ合金製 670011-03

五月武者幟ポール 3号

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます
お使いになる前にこの取扱説明書を最後までお読み下さい。
お読みになったあとは必ず保存して下さい。

ご注意

○日本国内の環境を考慮して設計された製品であり、海外での使用厳禁！！
○設置場所は地面に限ります。場所を決めるとき、必ず頭上の電線にご注意下さい。アルミ合金製ですから感電します。

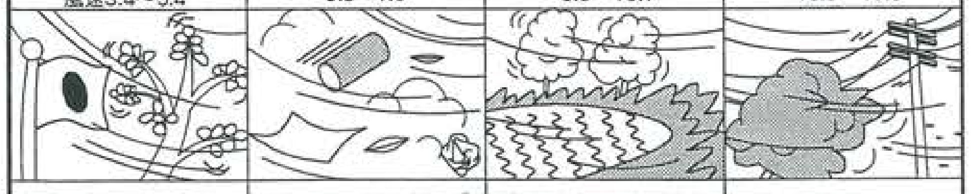
組立及び降納時の注意

○ポールの組立及び解体を行う時、特に電線に注意し、組立時はもちろん、傾斜した時にも電線に触れない所に立てて下さい。
やむを得ず電線のそばに立てる時は事前に電力会社に連絡して下さい。
○ポールの組立及び降納は必ず大人3人以上で行って下さい。
○雨天時、強風時にはポールの組立及び降納を行わないで下さい。

使用上の注意

○雨天時や強風時（風力4以上）にはポールが変形したりする事がありますので鯉や吹き流しは降ろして下さい。（下図風力の目安）
○ポールに取付ける鯉は化繊系とし、鯉や吹き流しは4点以下として下さい。また、その長さは最長のものでポール本体の全長の1/2以下にして下さい。
○矢車等はポール本体に適したものを選んで下さい。
○大幟・鯉幟の掲揚シーズン終了時には、ポール・回転球等も降納して下さい。なお、ポールを降納するおり、ポールを倒す方向に脚立等を置き障害の有無を確認の上、ゆるやかに倒して下さい。

風力3	4	5	6
風速3.4〜5.4	5.5〜7.9	8.0〜10.7	10.8〜13.8
木の葉や小枝がたえず動き旗などがひらめく	ほこりがたち、紙くずなどが舞う	葉のあるかん木がゆれ、池の水面に波が立つ	大木が動き電線が鳴る



降納の注意

○使用後の解体は組立方の逆に行って下さい。
（組上がり完成状態では、ポールをパイル（杭）から引き抜かないで下さい）
○解体時ポール本体のボルトをはずし、収納寸前に必ず乾いた布等でポール本体をよく拭き、チリや砂等がすき間に入り込まないようにご注意下さい。
○雨天時や強風時には降納を行わないで下さい。
○必ず大人3人以上で行って下さい。

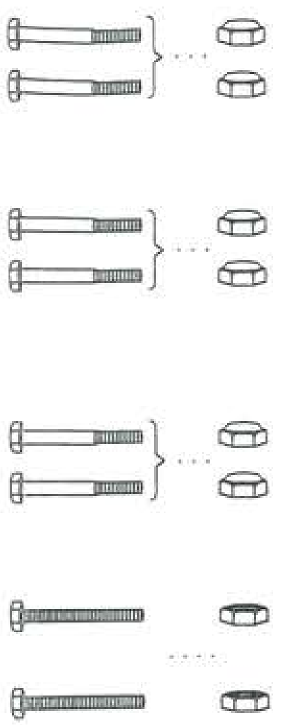
保管上の注意

○使用後は汚れを落とし乾いた布でよく拭き、湿気のある場所や潮風の当たる場所、化学肥料の保管している場所は避けて下さい。
なお、パイル（杭）はビニール等で保護して下さい。
○使用・保管状態により、パイル（杭）・ポール等腐食する場合があります。
翌年、ポールを掲揚する場合パイル（杭）の腐食状態を確認して下さい。
（鉄製の為、腐食が進行している場合があり、そのまま使用すると危険です）

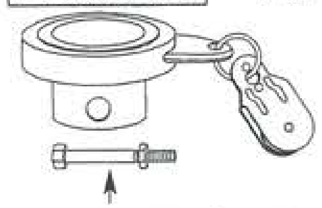
部品の名称 （上下回転器付き）

ボルト・特殊ナット

⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で2〜3回締めると回転しなくなります。さらに添え付けのスパナで1〜2回締めて下さい。締めすぎると袋ナットの袋部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。



回転器㊀滑車付

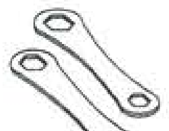


同封のボルトは準備作業の⑧の段階で使用します

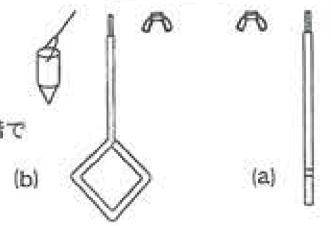
回転器㊅

同封のボルトは準備作業の④の段階で使用します

付属スパナ

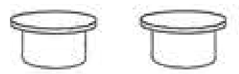


垂直器

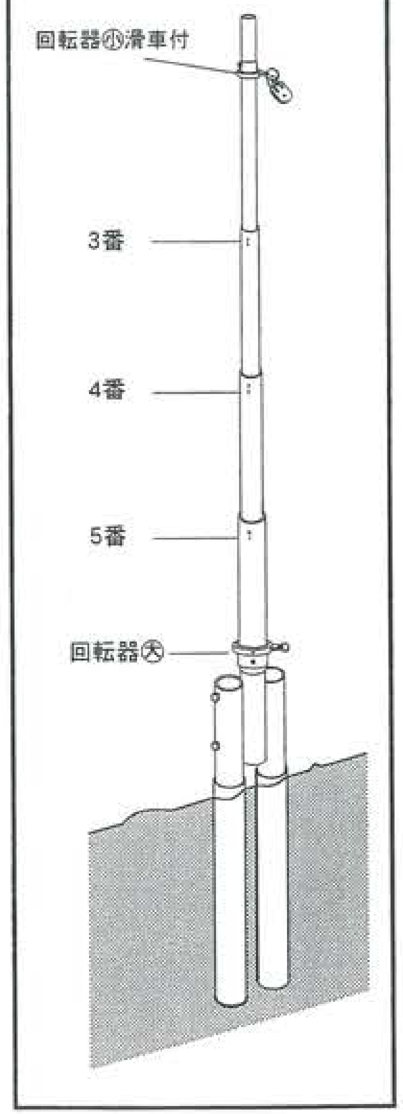


ポール用キャップ

ステパイプ用キャップ



完成図



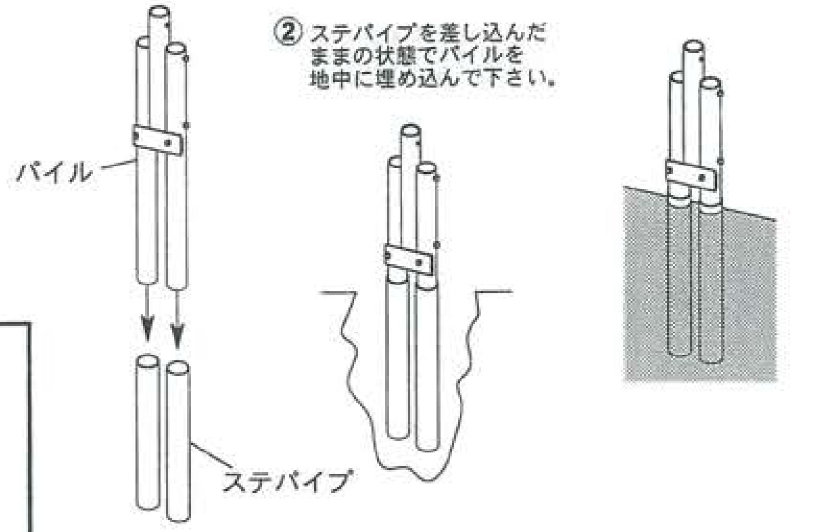
ステパイプの取り付け方

準備作業の進め方をよくお読みの上ケガをしないよう十分注意をして作業をして下さい。

① あらかじめ組み立ててあるパイルをステパイプに差し込んで下さい。

② ステパイプを差し込んだままの状態でパイルを地中に埋め込んで下さい。

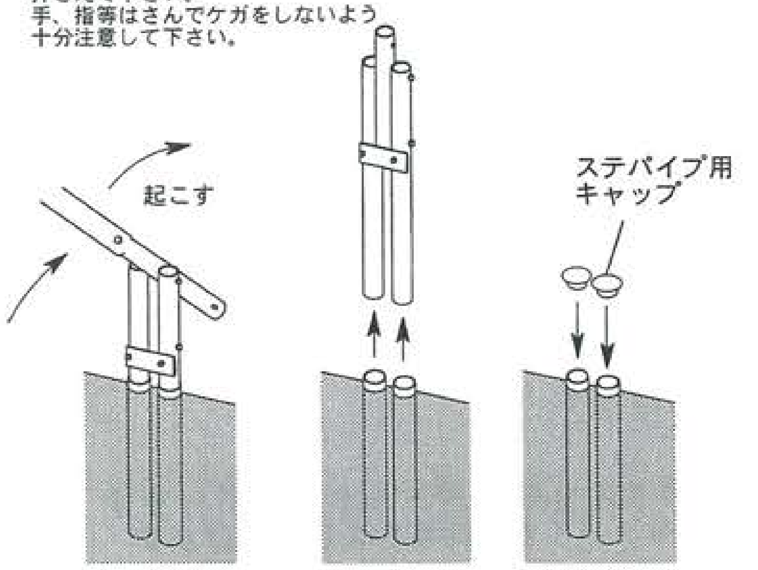
③ ステパイプの先端が地面より少し出る位まで埋め込んで下さい。



⚠警告

ポールの上げ、降ろしの時パイルが抜ける場合がありますのでパイルを押さえて下さい。
手、指等はさんでケガをしないよう十分注意して下さい。

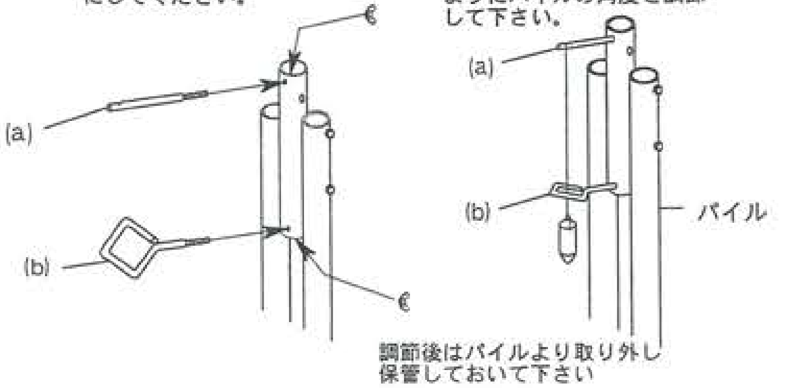
ご使用後は
パイルを抜き取りキャップをかぶせて平地としてご使用下さい。



垂直器の取り付け方

① 金具[a]、[b]をパイルに蝶ねじで取り付けます。
[a]の切り込み部を必ず上にしてください。

② [a]にひもを引っかけて、[b]の中につり下げます。
[b]の中心にひもが位置するようにパイルの角度を調節して下さい。



調節後はパイルより取り外し保管しておいて下さい

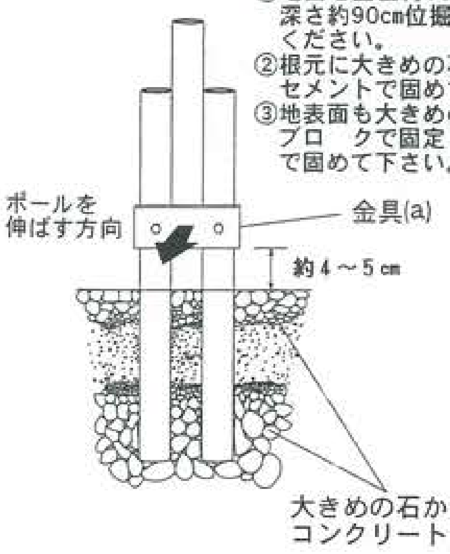
準備作業の進め方

① パイルをうめます。

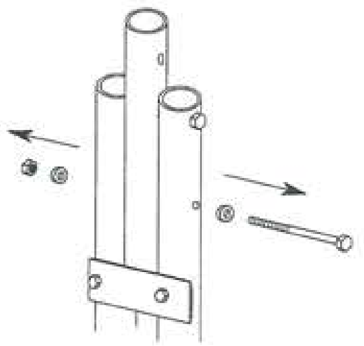
※パイルを埋める前に必ず
ステパイプの取り付け方をご精読下さい。

パイルをうめ込む場所を決める時、特に下記のことにご注意下さい
①ポールはアルミ合金製ですから必ず頭の上の電線の有無を確認して下さい。
電線にポールが接触すると感電します。
②あらかじめポールを伸ばす方向を決めパイルに取り付けた金具(a)がポールを伸ばす方向になるように位置して下さい。
③風向き、及び幟旗等を配慮して位置を決めて下さい。

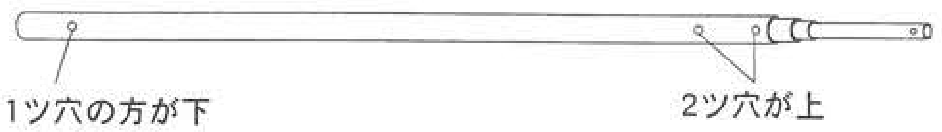
①地面を直径約50cm位
深さ約90cm位掘り下げて
ください。
②根元に大きめの石等を入れ
セメントで固めて下さい。
③地表面も大きめの石か
ブロ　クで固定し、セメント
で固めて下さい。



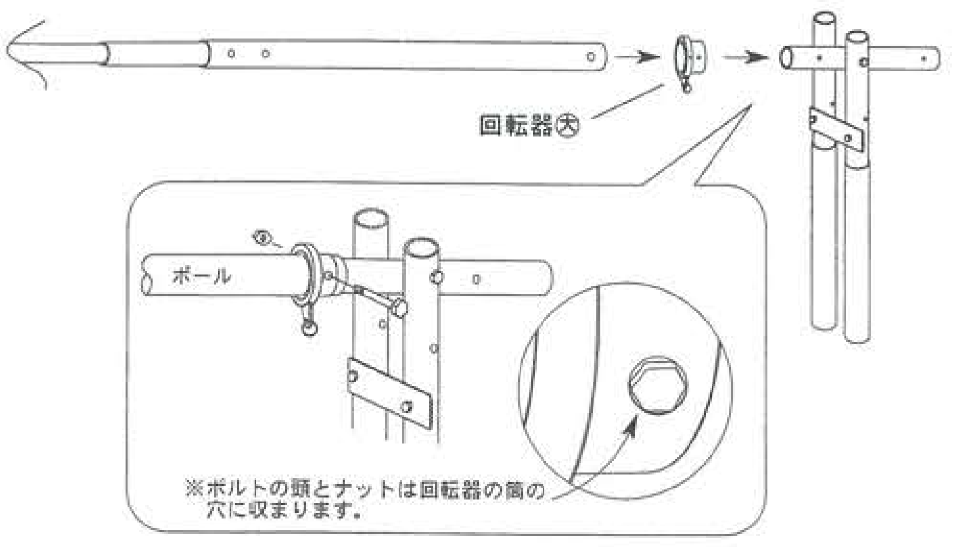
② 地中にうめ込み、コンクリートが固まった事を確認した後、下のボルト、ナットを取って下さい。



③ ポール本体をケースより取り出しポールの両端の穴にご注意下さい。2ツ穴のほうが上になります。



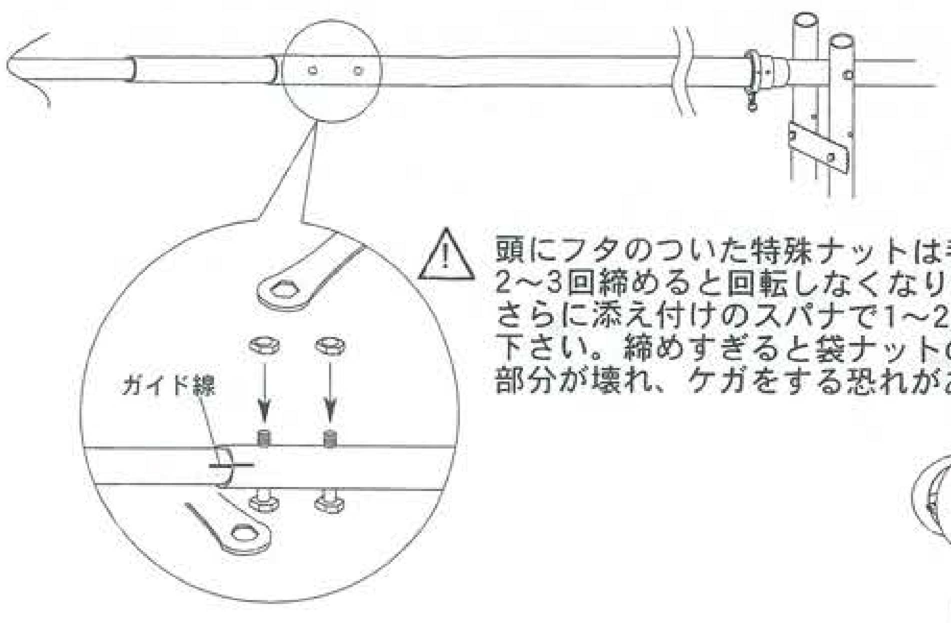
④パイルを倒しポールを取り付けます
※このとき回転器㊝を取り付けます



⚠ ボルトナットは回転器の筒の穴に収めてしめてください。
回転器に掛かった状態でボルトをしめると、回転器が変形し
回らなくなる恐れがありますので、ご注意下さい。

⑤ポールを引き出しボルトとナットで接続します

使用ボルトは完成図に明記した番号のものをお使い下さい

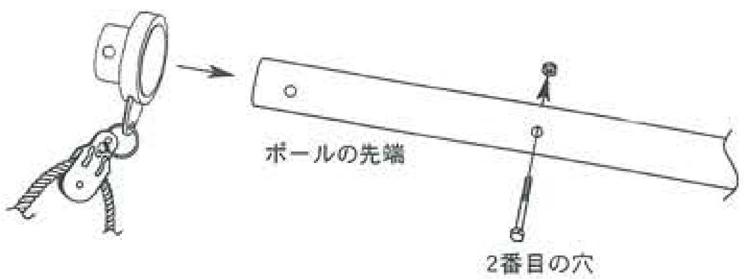


ガイド線を合わすとボルトの穴が合います。

⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で
2～3回締めると回転しなくなります。
さらに添え付けのスパナで1～2回締めて
下さい。締めすぎると袋ナットの袋
部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。

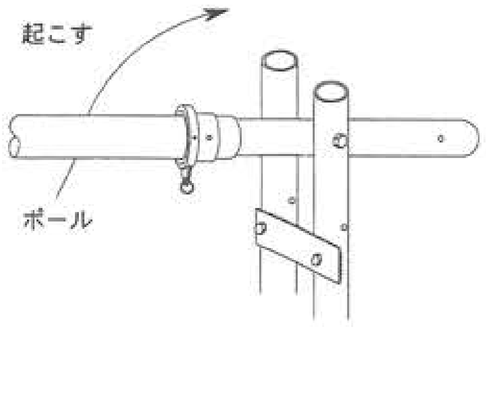
⑥ 回転器㊫滑車付を取り付けます

回転器㊫滑車付を一番細いポールの上から2番目の穴に取り付けます。

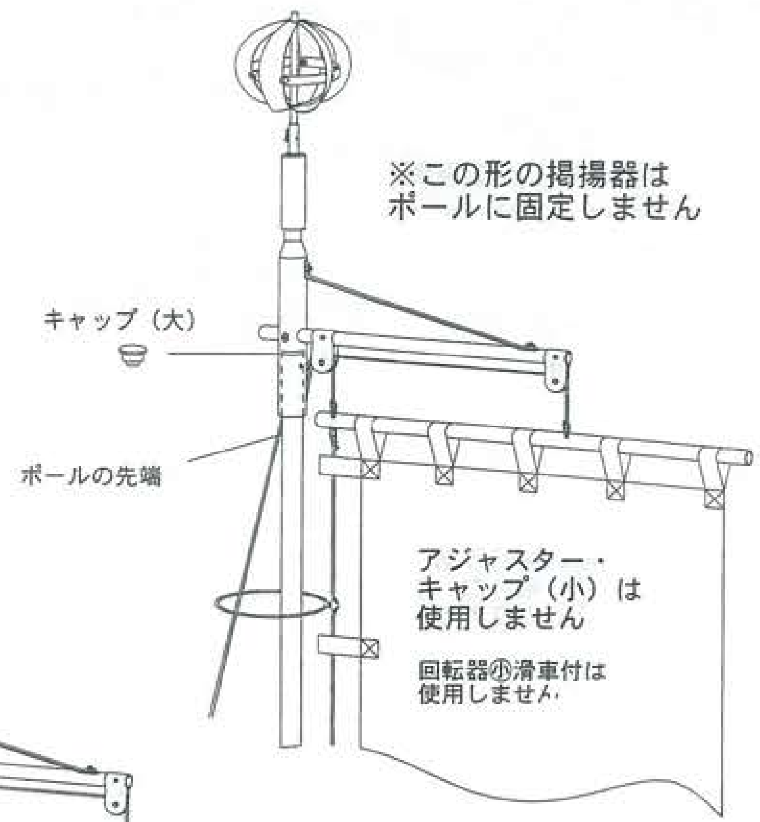


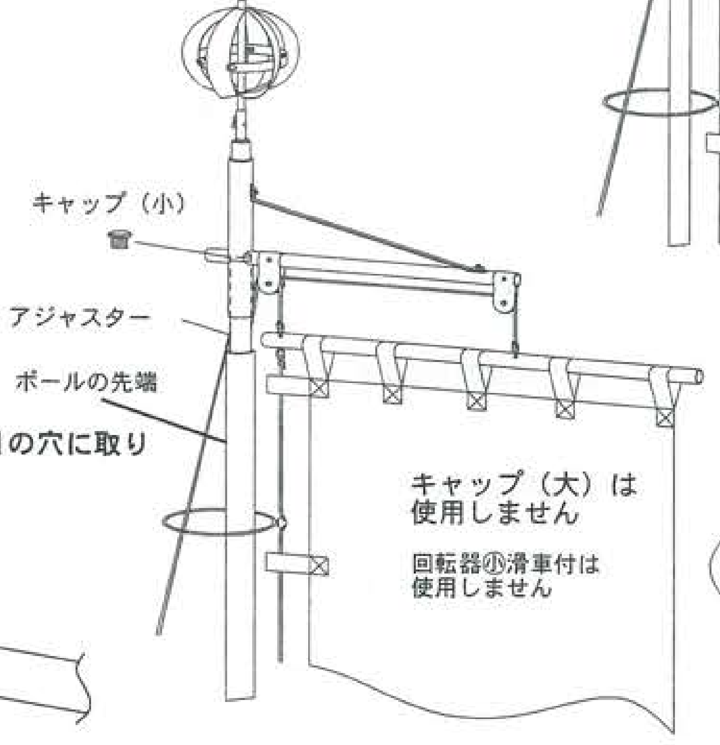
※ボルトの締め付けは、④の回転器㊝取り付け方を参照して下さい。

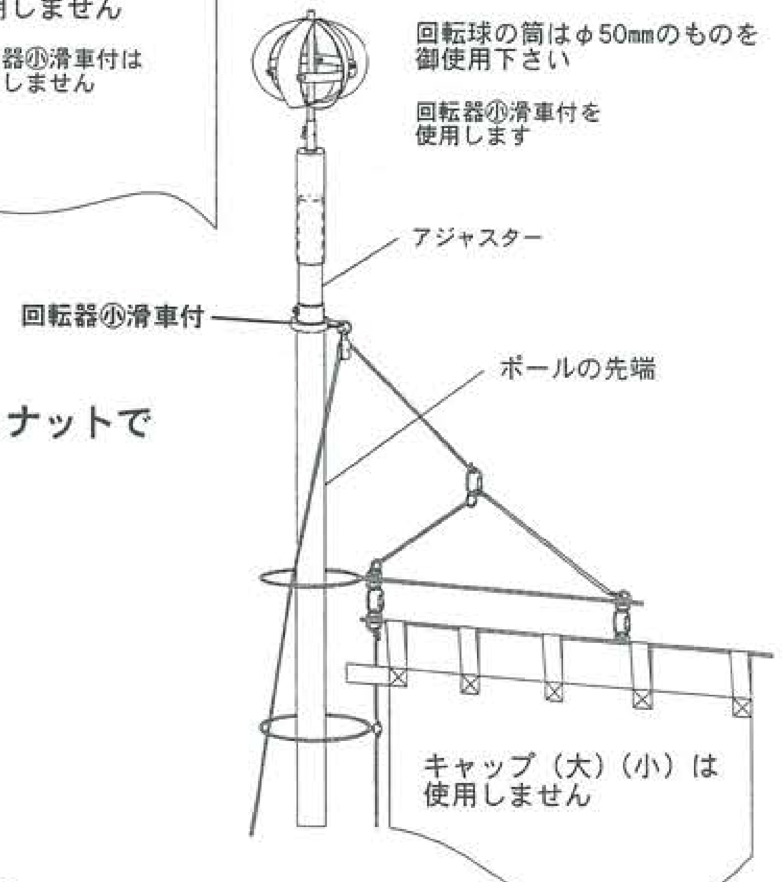
⑦ポールを矢印方向に起こします



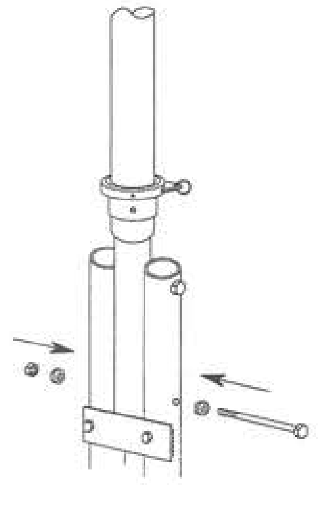
◇掲揚器の種類別取り扱い例◇







⑧ ②で取り外したボルトとナットでポールを固定します



耐蝕性強力アルミ合金製 570711-02

五月武者幟ポール 2号

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます
お使いになる前にこの取扱説明書を最後までお読み下さい。
お読みになったあとは必ず保存して下さい。

ご注意

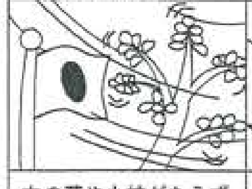
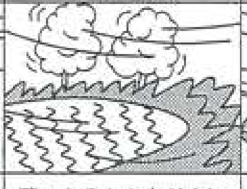
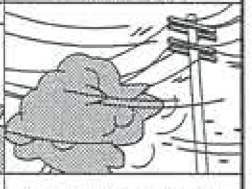
○日本国内の環境を考慮して設計された製品であり、海外での使用厳禁！！
○設置場所は地面に限ります。場所を決めるとき、必ず頭上の電線にご注意下さい。アルミ合金製ですから感電します。

組立及び降納時の注意

○ポールの組立及び解体を行う時、特に電線に注意し、組立時はもちろん、傾斜した時にも電線に触れない所に立てて下さい。
やむを得ず電線のそばに立てる時は事前に電力会社に連絡して下さい。
○ポールの組立及び降納は必ず大人3人以上で行って下さい。
○雨天時、強風時にはポールの組立及び降納を行わないで下さい。

使用上の注意

○雨天時や強風時（風力4以上）にはポールが変形したりする事がありますので鯉や吹き流しは降ろして下さい。（下図風力の目安）
○ポールに取付ける鯉は化繊系とし、鯉や吹き流しは4点以下として下さい。また、その長さは最長のものでポール本体の全長の1/2以下にして下さい。
○矢車等はポール本体に適したものを選んで下さい。
○大幟・鯉幟の掲揚シーズン終了時には、ポール・回転球等も降納して下さい。なお、ポールを降納するおり、ポールを倒す方向に脚立等を置き障害の有無を確認の上、ゆるやかに倒して下さい。

風力3	4	5	6
風速3.4〜5.4	5.5〜7.9	8.0〜10.7	10.8〜13.8
			
木の葉や小枝がたえず動き旗などがひらめく	ほこりがたち、紙くずなどが舞う	葉のあるかん木がゆれ、池の水面に波が立つ	大木が動き電線が鳴る

降納の注意

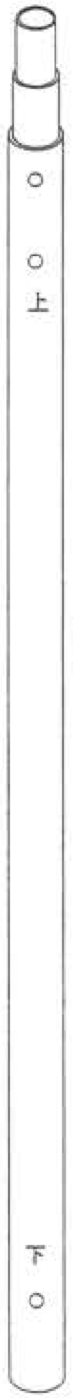
○使用後の解体は組立方の逆に行って下さい。
（組上がり完成状態では、ポールをパイル（杭）から引き抜かないで下さい）
○解体時ポール本体のボルトをはずし、収納寸前に必ず乾いた布等でポール本体をよく拭き、チリや砂等がすき間に入り込まないようにご注意下さい。
○雨天時や強風時には降納を行わないで下さい。
○必ず大人3人以上で行って下さい。

保管上の注意

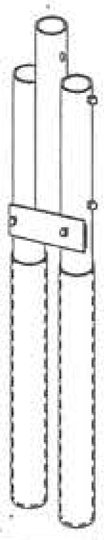
○使用後は汚れを落とし乾いた布でよく拭き、湿気のある場所や潮風の当たる場所、化学肥料の保管している場所は避けて下さい。
なお、パイル（杭）はビニール等で保護して下さい。
○使用・保管状態により、パイル（杭）・ポール等腐食する場合があります。翌年、ポールを掲揚する場合パイル（杭）の腐食状態を確認して下さい。
（鉄製の為、腐食が進行している場合があり、そのまま使用すると危険です）

部品の名称

ポール本体



パイル



ステパイプ

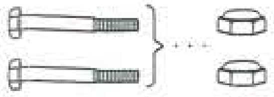
付属スパナ

ポール用キャップ

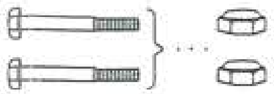
ボルト・特殊ナット

⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で2〜3回締めると回転しなくなります。さらに添え付けのスパナで1〜2回締めて下さい。締めすぎると袋ナットの袋部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。

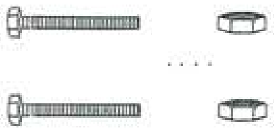
3番



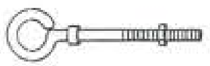
4番



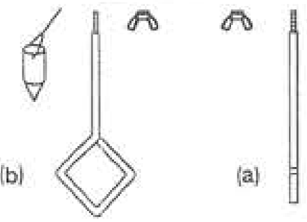
予備



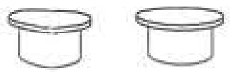
ヒートン



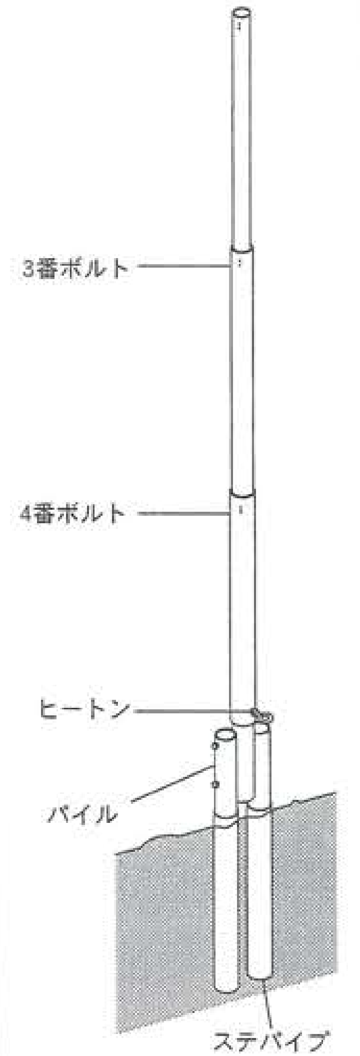
垂直器



ステパイプ用キャップ



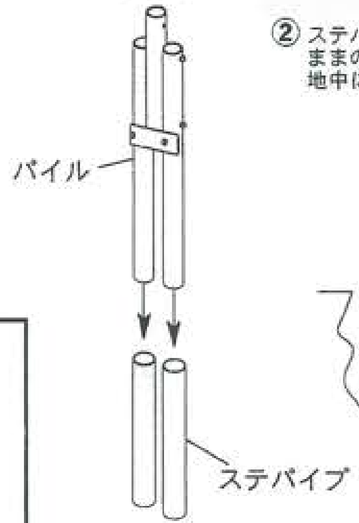
完成図



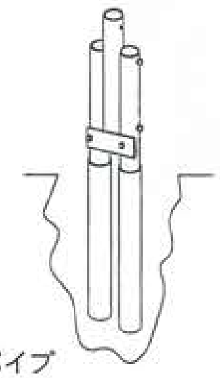
ステパイプの取り付け方

準備作業の進め方をよくお読みの上ケガをしないよう十分注意をして作業をして下さい。

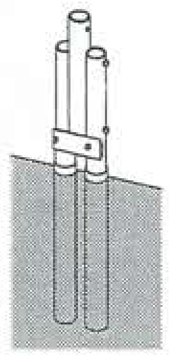
① あらかじめ組み立ててあるパイルをステパイプに差し込んで下さい。



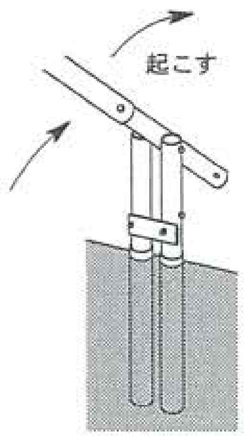
② ステパイプを差し込んだままの状態でパイルを地中に埋め込んで下さい。



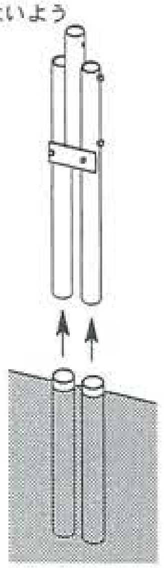
③ ステパイプの先端が地面より少し出る位まで埋め込んで下さい。

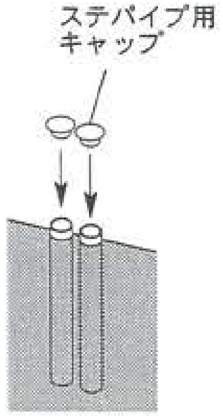


⚠警告
ポールの上げ、降ろしの時パイルが抜ける場合がありますのでパイルを押さえて下さい。
手、指等はさんでケガをしないよう十分注意して下さい。



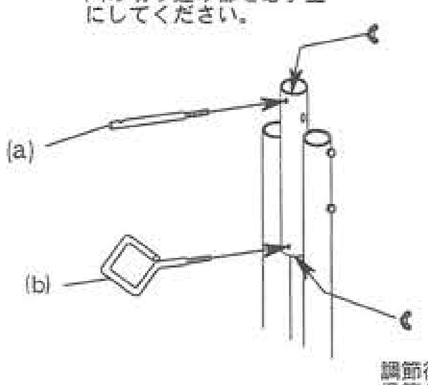
ご使用後は
パイルを抜き取りキャップをかぶせて平地としてご使用下さい。



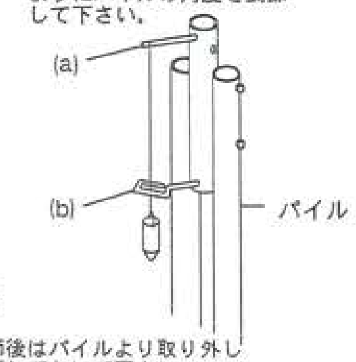


垂直器の取り付け方

① 金具(a)、(b)をパイルに蝶ねじで取り付けます。(a)の切り込み部を必ず上にしてください。



② (a)にひもを引っかけて、(b)の中につり下げます。(b)の中心にひもが位置するようにパイルの角度を調節して下さい。



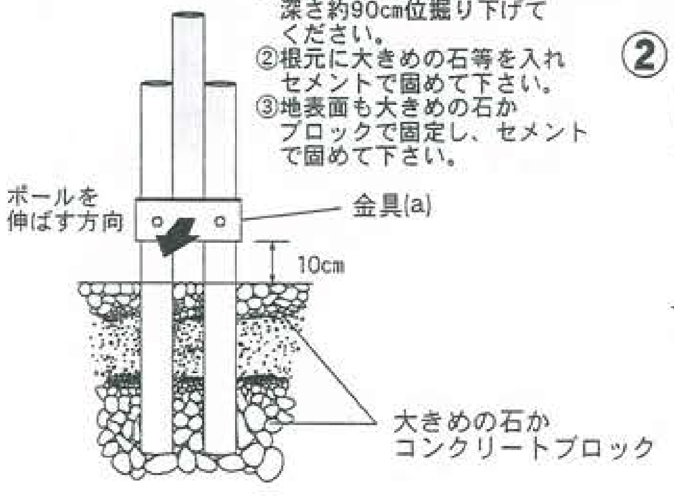
調節後はパイルより取り外し保管しておいて下さい

準備作業の進め方

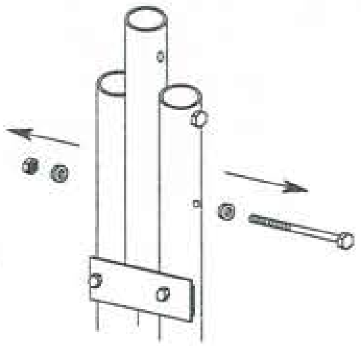
① パイルをうめます。 ※パイルを埋める前に必ず
ステパイプの取り付け方をご精読下さい。

パイルをうめ込む場所を決める時、特に下記のことにご注意下さい

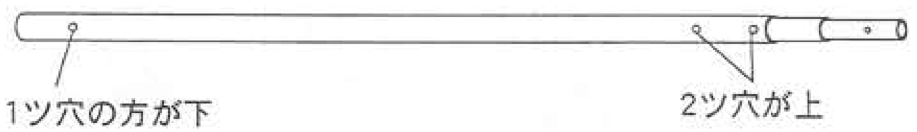
①ポールはアルミ合金製ですから必ず頭の上の電線の有無を確認して下さい。
電線にポールが接触すると感電します。
②あらかじめポールを伸ばす方向を決めパイルに取り付けた金具(a)がポールを
伸ばす方向になるように位置して下さい。
③風向き、及び幟旗等を配慮して位置を決めて下さい。



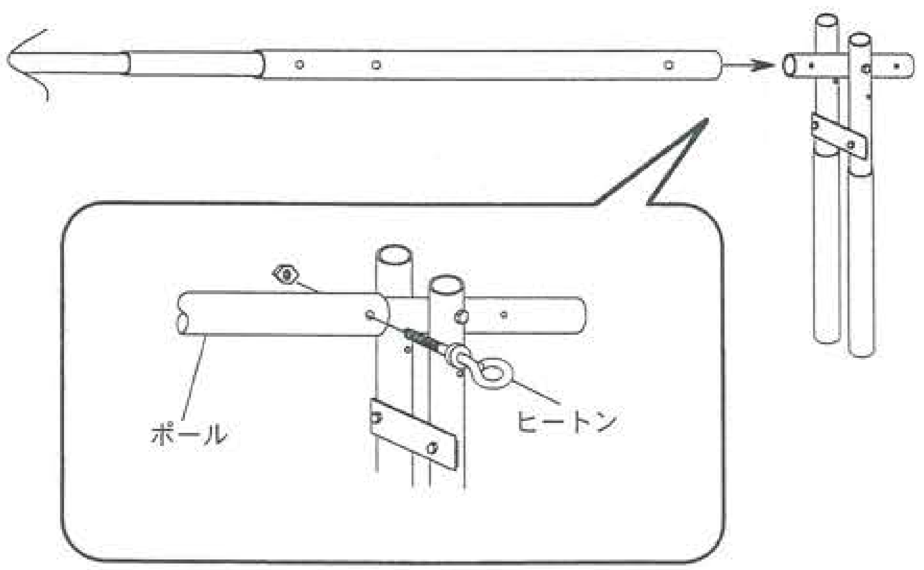
② 地中にうめ込み、コンクリートが固まった事を確認した後、下のボルト、ナットを取って下さい。



③ ポール本体をケースより取り出し、ポールの両端の穴にご注意下さい。
2ツ穴のほうが上になります。

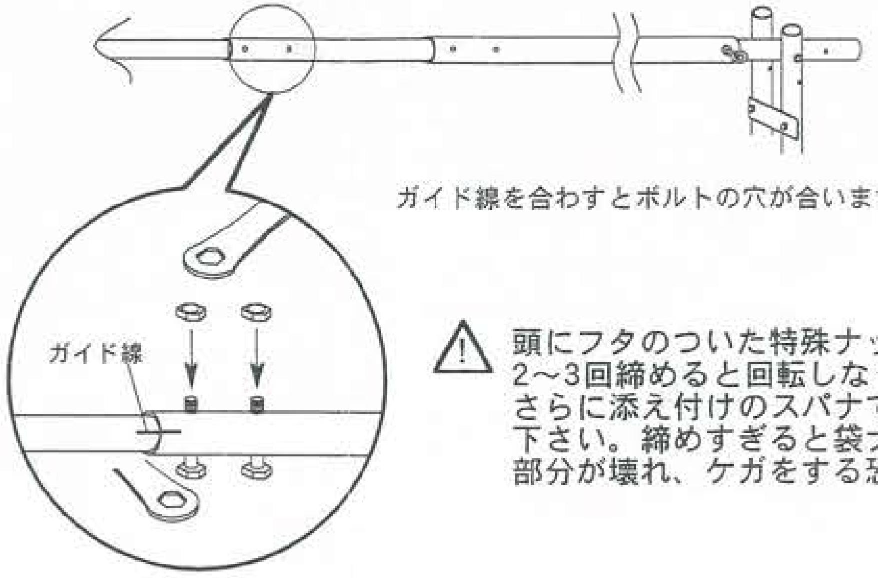


④ パイルを倒しポールを取り付けます



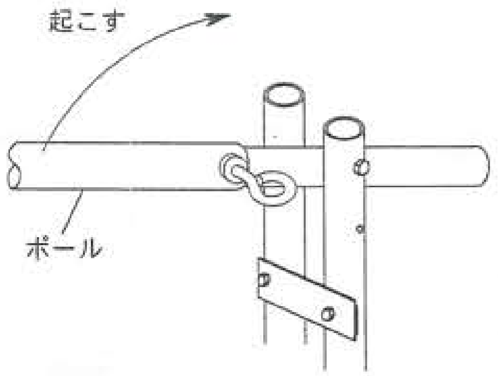
⑤ ポールを引き出しボルトとナットで接続します。

使用ボルトは完成図に明記した番号のものをお使い下さい

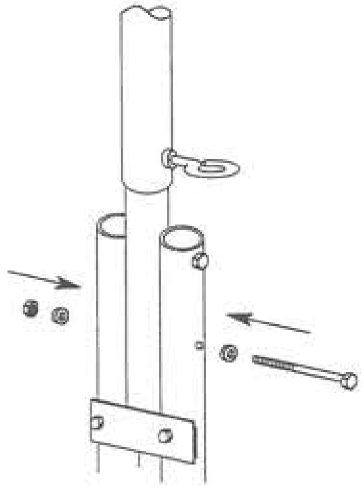


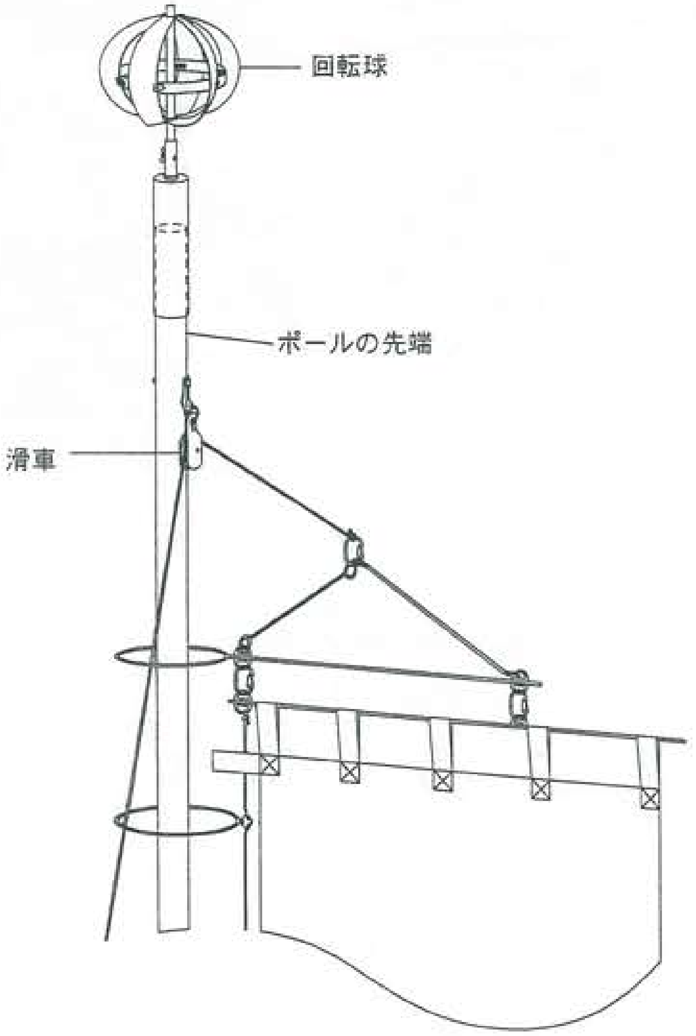
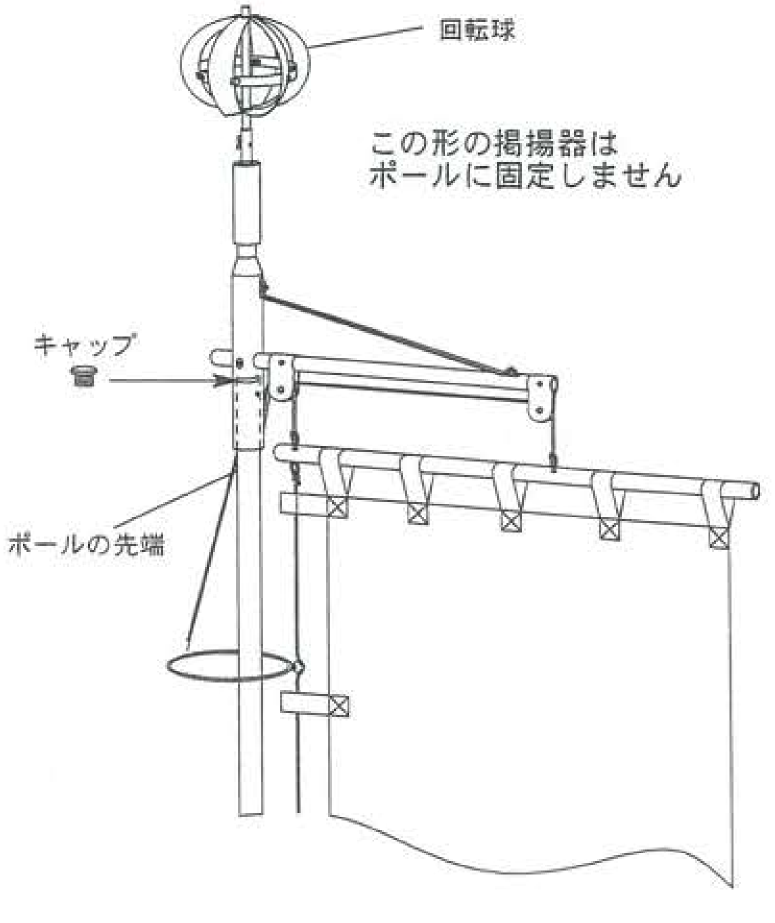
⚠ 頭にフタのついた特殊ナットは手で
2～3回締めると回転しなくなります。
さらに添え付けのスパナで1～2回締めて
下さい。締めすぎると袋ナットの袋
部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。

⑥ ポールを矢印方向に起こします。



⑦ ②で取り外したボルトとナットで
ポールを固定します。



◇掲揚器の種類別取り扱い例◇

回転球の筒はφ50mmのものを
御使用下さい